7.1.18

北海道帝國大學一覽

昭和六年

附 第十六臨時教員養成所一覽

○第五條　前條ノ規定ニ依リ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第四十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第五十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第六十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第七十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第八十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第九十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百二十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百三十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百四十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百五十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百六十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百七十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百八十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第百九十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百二十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百三十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百四十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百五十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百六十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百七十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百八十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十三條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十四條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十五條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十六條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十七條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十八條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第二百九十九條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三百條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三百一條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三百二條　前條ノ出願ヲ為ス場合ニ於テハ其ノ旨ヲ明記スルコトヲ要ス

○第三百三條　前

281-18

北海道帝國大學一覽

昭和六年

目次

○學年暦
○沿革略
○大學ニ關スル法令規程
大學令
帝國大學令
帝國大學及其ノ學部令
大學規程
大學特別會計法
北海道帝國大學官制
北海道帝國大學各學部講座

發行所寄贈本

昭和六年

○目次

頁一三六二四四五三〇

本一覽ハ昭和六年五月三十一日現在ニ據リ編纂セルモノナレドモ印刷完成前ニ於ケルモノハ出來得ル限リ之ヲ訂正セリ

學位令
北海道帝國大學學位規程
北海道帝國大學副手規程
文部部內臨時職員設置制
雇外國人ニ關スル勅令
外國人特別入學規程
○職員
北海道帝國大學職員
農學部職員
醫學部職員
工學部職員
理學部職員
豫科職員
附屬土木專門部職員
附屬水產專門部職員

六五
六七
七一
七二
七三
七五
七五
七九
八三
九九
一二五
一二九
一三六
一四二

○北海道帝國大學通則
第一章　學年、休業
第二章　學　部
第三章　大學院
第四章　獎學貸費學生
○農學部規程
第一章　學　期
第二章　學科、課程
第三章　入　學
第四章　試　驗
第五章　選科生
第六章　聽講生
○醫學部規程
第一章　學　期
第二章　學修科目

一四五
一四五
一四八
一五二
一五六
一五八
一五八
一五八
一五八
一八九
一八九
一九〇
一九二
一九三
一九三

第三章　入學　一九八
第四章　學士試驗　一九九
○工學部規程　二〇四
第一章　學期及授業　二〇四
第二章　入學　二〇五
第三章　科目試驗　二〇六
第四章　學士試驗　二〇六
第五章　聽講生　二〇七
○理學部規程　二一五
第一章　學期　二一五
第二章　學科課程　二一五
第三章　入學　二一五
第四章　學士試驗　二一五
第五章　聽講生　二一五
○農學部農學實科及林學實科規程　二二五

第一章　目的、定員、修業年限　二四五
第二章　學年、學期　二四五
第三章　學科課程　二四五
第四章　入學、在學、休學、退學　二四六
第五章　試驗、卒業、稱號　二五二
第六章　特待生　二五五
第七章　懲戒　二五七
第八章　授業料　二五七
第九章　服制　二五七
第十章　研究生　二五八
第十一章　雜則　二五八
○豫科規則　二五九
○附屬土木專門部規則　二六〇
○附屬水產專門部規則　二七一
○學生生徒服制　二八三

○附屬圖書館規程　三〇三
○植物園及博物館縱覽規程　三〇八
○家畜病院規程　三一一
○醫學部附屬醫院規則　三一四
○醫學部附屬醫院規則施行細則　三一六
○醫學講習科規程　三一七
○看護法講習科規則　三一五
○產婆養成所規則　三二三
○病的材料檢查科規程　三二七
○寄宿舍規程　三三〇
○概況　三四〇
農學部附屬農場　三四二
農學部附屬演習林　三四九
農學部附屬植物園及博物館

醫學部附屬醫院　三五一
附屬圖書館　三五一
寄宿舍　三五五
水產專門部臨海實驗所及練習船　三五六
土地建物及船舶　三五七
○奬學資金　三六三
高松宮御寄附奬學賞金授與規則　三六三
奬學資金寄贈者表　三六四
○出版　三六七
○學位授與　三九三
○學生及生徒姓名　四〇九
第一　大學院學生　四〇九
第二　農學部學生　四一〇
第三　農學實科生徒　四一〇
第四　林學實科生徒　四一三

第五　醫學部學生
第六　工學部學生
第七　理學部學生
第八　豫科生徒
第九　附屬土木專門部生徒
第十　附屬水產專門部生徒

○學生生徒諸表

學生生徒現在數
學生生徒年齡別
學生生徒道府縣別

○卒業生姓名

農學士　四一四
林學士　四三一
醫學士　四三八
工學士　四四三
　四五七
　四六三
　四六三
　四六六
　四七二
　四七五
　四七五
　五〇〇
　五三三
　五三六

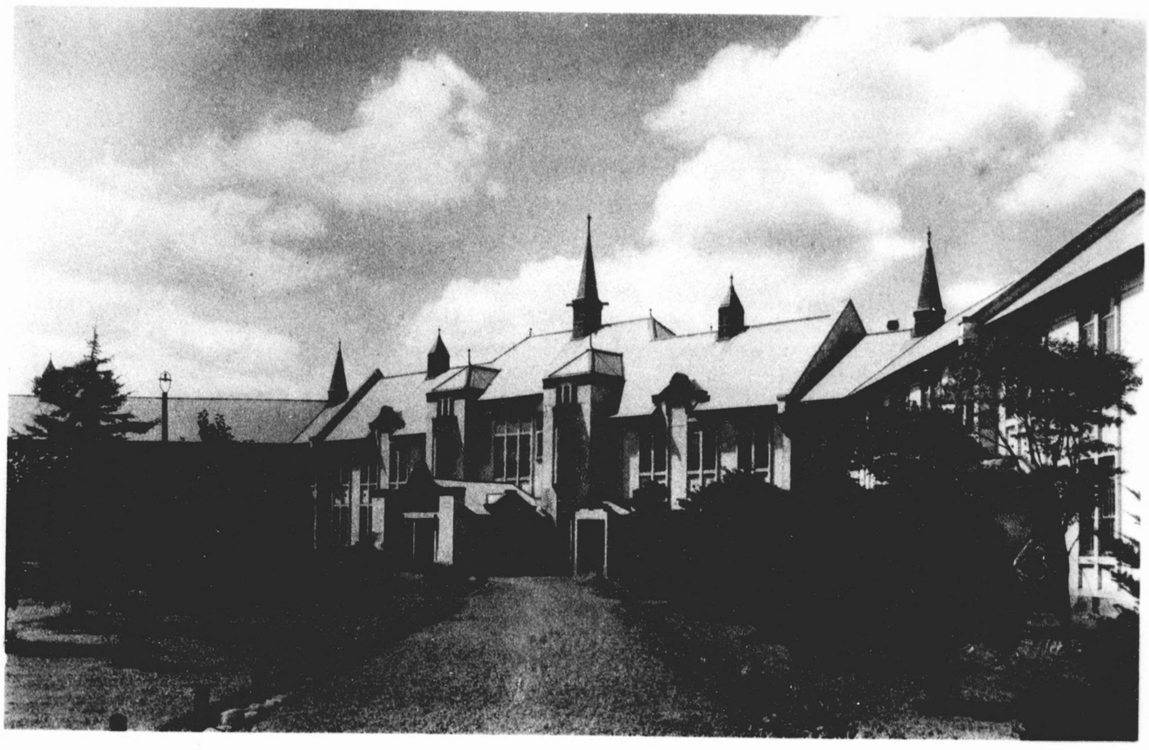
專科修了者
大學豫科卒業生　五四七
豫科卒業生　五五五
農學實科卒業生　五七五
森林科卒業生　六〇四
林學科卒業生　六一六
林學實科卒業生　六一七
土木工學科卒業生　六一九
土木專門部卒業生　六二一
水產學科卒業生　六二九
水產專門部卒業生　六四六
農藝科卒業生　六五五
兵學科別科卒業生　六七一
○卒業生職業別表
農學士　六八一
　六八四
　六八四

○目　次

林學士　六九一
工學士(札幌農學校)　六九三
醫學士　六九三
工學士　六九四
農學實科　六九五
森林科林學科及林學實科　六九六
土木工學科及土木專門部　六九七
水產學科及水產專門部　六九八
農藝科　六九九

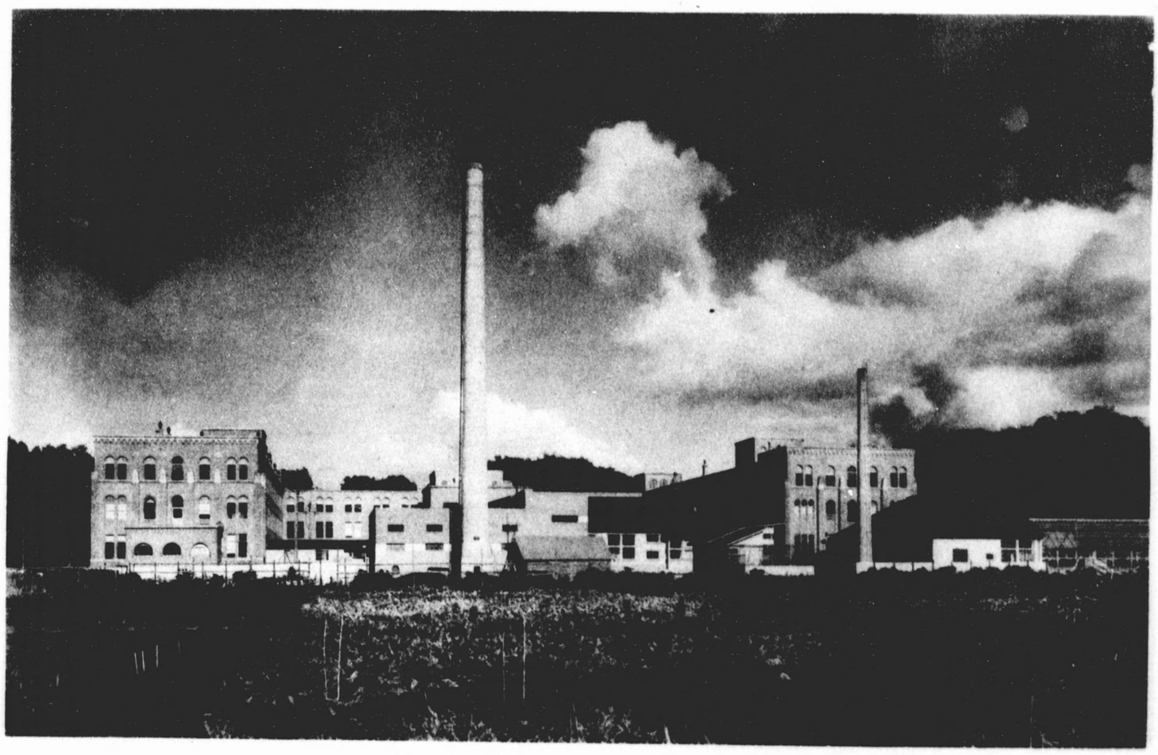
○大學要圖
○附　錄
文武會會則

帝國大學農學部



北海道帝國大學工學部

北海道帝國大學醫學部附屬醫院



北海道帝國大學理學部

北海道帝國大學一覽

（昭和六年）

○學年曆

昭和六年

學年始	四月一日
第一學期始	四月一日
春期休業始	四月一日
春期休業終	四月七日
休業（天長節）	四月二十九日
第一學期終（醫學部、豫科、土木、水產兩專門部）	七月十日
第二學期始（醫學部、豫科、土木、水產兩專門部）	七月十一日
夏期休業始	七月十一日
夏期休業終	九月十日
休業（秋季皇靈祭）	秋分日
休業（神嘗祭）	十月十七日

十月三十一日　第一學期終（農、工、理學部）
十一月一日　第二學期始（農、工、理學部）
十一月三日　休業（明治節）
十一月二十三日　休業（新嘗祭）
十二月二十四日　第二學期終（醫學部、豫科、土木專門部）
十二月二十五日　第三學期始（醫學部、豫科、土木專門部）
十二月三十一日　冬期休業始
昭和七年
一月一日　第二學期終（水產專門部）
一月七日　冬期休業終
二月六日　休業（北海道帝國大學記念日）
二月十一日　休業（紀元節）
春分日　休業（春季皇靈祭）
三月三十一日　第三學期終
三月三十一日　第二學期終（農、工、理學部）

三月三十一日　學年終

○沿革略

北海道帝國大學ハ大正七年四月一日ヨリ設置セラル是ヨリ先仙臺ニ東北帝國大學ヲ置キ札幌農學校ヲ同大學ノ農科大學ト爲シ明治四十年九月一日ヨリ開設セラレタリシカ大正七年三月勅令第四十三號ヲ以テ北海道帝國大學ヲ札幌ニ置キ東北帝國大學農科大學ヲ同大學ノ農科大學トセラレ茲ニ本學ノ獨立ヲ見ルニ至レリ而シテ札幌農學校ハ舊ト札幌學校ト稱シ札幌學校ハ開拓使假學校ヨリ起ル依テ假學校創立以來ノ沿革ヲ略叙スルコト左ノ如シ

明治五年
四月　東京芝增上寺内ニ開拓使假學校ヲ設置シ開拓使五等出仕荒井郁之助ヲ以テ校長トセラル
明治六年
三月　學校ノ組織ヲ改正シ荒井郁之助ノ校長ヲ解カレ開拓使七等出仕調所廣丈校長ニ任セラル

明治七年　農學專門科ヲ設ク

明治八年

八月　假學校ヲ北海道札幌ニ移シ札幌學校ト稱セラル

明治九年

七月　米國「マサチユーセツツ」州農學校ノ規模ニ則リ大ニ改正ヲ加ヘ農學及之ニ關スル必要ノ諸學科ヲ教授シ修業年限ヲ四箇年トシ卒業生ニ農學士ノ學位ヲ授與スルノ制ヲ定メラル又豫備科(修業年限三箇年)ヲ創設シ本科ニ入ルノ階梯トナス

八月　札幌農學校ト改稱ス

是ノ年札幌ノ西北端ニ於テ農校園トシテ開拓使勸業課ヨリ十二萬一千坪ヲ割讓セラル

明治十一年

二月　開拓使勸業課温室及其ノ屬地ヲ本校ノ所屬ト爲シ園藝ノ實習用ニ供ス爾後屢々地積ヲ增加シテ現時ノ植物園トナル

明治十四年

二月　調所廣丈校長ヲ解カレ開拓使權少書記官森源三校長ニ任セラル

明治十五年

二月　開拓使廢止セラル

三月　農商務省ノ所屬トナリ北海道事業管理局ノ管理ニ歸ス

明治十九年

一月　北海道事業管理局廢止セラレ北海道廳ノ所屬トナル

十二月　勅令第八十四號ヲ以テ札幌農學校官制ヲ發布セラル○北海道廳理事官佐藤秀顯校長事務取扱ヲ命セラル

明治二十年

三月　教授佐藤昌介幹事ニ兼任シ校長ノ職務ヲ代理ス○校則ヲ改正セラレ新ニ工學科ヲ設ケ又豫科ヲ置キ本科ニ入ルノ階梯ト爲シ更ニ農藝傳習科(修業年限二箇年)ヲ置ク

是ノ年開拓使勸業課所屬育種場ヲ本校農園ニ合併ス

明治二十一年

十二月　北海道廳三等技師橋口文藏校長ニ任セラル

明治二十二年
三　月　校長兼北海道廳三等技師橋口文藏北海道廳理事官兼校長ニ任セラル
九　月　校則ヲ改正シ新ニ兵學科ヲ置キ軍事ニ關スル學術ヲ教授シ豫科ヲ改メテ普通學科ヲ教授スル所トシ修業年限ヲ五箇年トス
十　月　農工學科ヲ卒業シタル者ハ其ノ學科ニ從ヒ農學士又ハ工學士ト稱スルコトヲ得セシメラル○兵學科別科ヲ置キ屯田兵曹長免官ノ者ヲ入學セシメ在學期間ヲ一箇年トシ普通農學及軍事上ノ學術技藝ヲ教授ス
明治二十三年
三　月　所屬農園ノ一部(今ノ第二農場ノ位置)ヲ割キ之ヲ札幌農學校同窓會ニ拂下ク
五　月　空知郡栗澤村字ウエンベツ及夕張郡角田村字アノロノ二箇所ニ學田地ヲ增設ス是レ現今ノ第五第六農場ナリ
明治二十四年
一　月　十七日教育勅語謄本ヲ下賜セラル

八　月　北海道廳理事官兼校長橋口文藏兼官ヲ免セラレ教授佐藤昌介校長心得トナル
明治二十七年
四　月　校長心得教授佐藤昌介校長兼教授ニ任セラル
明治二十八年
三　月　札幌農學校同窓會所有ノ土地建物等ヲ擧ケテ本校ニ寄附ス因テ之ヲ維持資金ニ編入シ同窓會第一農園(札幌市北八條西五丁目ニ在リ)同第二農園(札幌村字レッレッブニ在リ)同第三農園(札幌郡平岸村字ミソマップニ在リ)ヲ第二第三第四農場ト改稱シ同時ニ從來ノ農園ヲ第一農場ト改ム○是ノ月龜田郡大中山村ニ於テ地積十七萬三千六百八十二坪餘ヲ本校維持資金ニ編入シ第七農場ト稱ス
四　月　一日文部省ノ直轄トナル○十四日　天皇皇后兩陛下ノ御眞影下賜セラル○札幌農學校同窓會ヨリ該會所有財產ヲ擧ケテ本校ノ維持資金ニ寄附シタルヲ以テ從來本校所屬ノ土地建物ハ政府ノ交付トシテ本校維持資金ニ編入セラル

七　月　勅令第百四號ヲ以テ本校資金ニ屬スル北海道土地ヲ貸付スルハ隨意契約ニ依ルコトヲ得ルノ件公布セラル

八　月　文部省告示第五號ヲ以テ本校資金ニ屬スル北海道土地貸下規程ヲ定メラル

十一月　一日　兩陛下御眞影奉戴式ヲ擧行ス

明治二十九年

六　月　校則改正ニ依リ從來設置ノ工學科及豫科ヲ廢止セラル

十一月　空知郡富良野村字下フラヌニ於テ未開地一千十一萬坪ヲ本校維持資金ニ編入シ第八農場ト稱ス

明治三十年

五　月　校則ヲ追加シ土木工學科ヲ設置セラル

十　月　二十五日　御親署教育勅語ヲ下賜セラレ二十八日拜戴式ヲ擧行ス

明治三十一年

五　月　校則ヲ追加シ豫修科ヲ設置セラル

明治三十二年

二　月　五箇年繼續事業トシテ本校々舍ヲ札幌市北八條西六丁目ニ改築スル事ヲ決セラル

三　月　校則ヲ改正シ農藝傳習科ヲ農藝科ト改メ修業年限ヲ三箇年トス

五　月　校則中追加シ土木工學科入學程度ヲ高メ新ニ森林科ヲ設置セラル

六　月　十三日校舍改築起工式ヲ行ヒ十六日ヨリ工事ニ著手ス

明治三十四年

三　月　石狩國雨龍郡ニ於ケル國有林三萬町歩ヲ內務省ヨリ所管換ニヨリ札幌農學校維持資金ニ編入セラレ之ヲ第一基本林ト稱ス

八　月　校則中改正シ土木工學科森林科ノ程度ヲ高メ中學校卒業生ヲ入學セシム

明治三十五年

一　月　天鹽國中川郡ニ於ケル國有林二萬町歩ヲ內務省ヨリ所管換ニヨリ札幌農學校維持資金ニ編入セラレ之ヲ第二基本林ト稱ス

明治三十六年

二　月　實業學校令改正セラレ本校ハ實業專門學校ト規定セラル

七　月　豫修科土木工學科及森林科生徒入學者ノ資格ヲ改正ス○是ノ月三十一日新築校舍成レルヲ以テ舊校舍ヨリ北八條西六丁目ニ移轉ス

明治三十七年

一　月　膽振國勇拂郡苫小牧村ニ於ケル國有林二千二百五十町歩ヲ內務省ヨリ所管換ニヨリ札幌農學校演習林ニ編入セラル

明治三十八年

三　月　校則中改正シ森林科ヲ林學科ニ改メ土木工學科ヲ卒ヘタル者ハ工學得業士林學科ヲ卒ヘタル者ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得セシム

明治三十九年

三　月　三箇年繼續事業トシテ水產學科教室實驗室及臨海實驗所等新築ノ事ヲ決セラル

七　月　水產學科教室新築ニ著手ス○水產學科臨海實驗所ヲ後志國忍路郡忍路ニ設置ノ許可アリ

明治四十年

二　月　校則中新ニ水產學科假規程ヲ追加ス

六　月　札幌測候所敷地ヲ第一農場ノ一部ト交換シ之ヲ校舍敷地ニ編入シ水產學科實驗室ノ新築地ニ充ツ尋テ水產學科教室實驗室等落成ス○二十二日勅令第二百三十六號ヲ以テ東北帝國大學ヲ仙臺ニ置キ札幌農學校ヲ改メテ東北帝國大學農科大學ト爲シ勅令第二百三十七號ヲ以テ東北帝國大學農科大學官制ヲ定メ且大學豫科土木工學科林學科水產學科ヲ附屬セシメ勅令第二百三十八號ヲ以テ東北帝國大學農科大學大學豫科土木工學科林學科及水產學科教授ノ官等俸給ニ關スル件ヲ定メ勅令第二百三十九號ヲ以テ文武判任官等級表中ニ東北帝國大學農科大學大學豫科土木工學科林學科及水產學科助教授ヲ加ヘ勅令第二百四十號ヲ以テ東北帝國大學農科大學ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ定メ共ニ明治四十年九月一日ヨリ之ヲ施行セラル○二十四日文部省令第二十一號ヲ以テ東北帝國大學ハ本年九月一日ヨリ開設シ本大學ニ農學科農藝化學科林學科及畜產學科ヲ置キ農學科農藝化學科ハ本年九月十一日ヨリ林學科畜產學科ハ明治四十三年九月十一日ヨリ授業ヲ開始スルコトニ定メラル○二十七日東北帝國大學農科大

學規則ヲ定メラル

九　月　一日東北帝國大學農科大學教授農學博士佐藤昌介東北帝國大學農科大學長ニ補セラル○十一日東北帝國大學農科大學開學式ヲ擧行シ元札幌農學校學生生徒ヲ新規則ニ據リテ大學科及各學科相當ノ學級ニ編入ス但シ農藝科生徒ハ其ノ卒業迄元札幌農學校所定ノ規則ニ遵ヒ仍之ヲ教授ス○是ノ月第一基本林ヲ雨龍演習林第二基本林ヲ天鹽演習林勇拂郡苫小牧村所在ノ演習林ヲ苫小牧演習林ト改稱ス○是ノ月勇拂郡苫小牧村ニ於テ國有未開地十七町四段二畝二十七歩ヲ內務省ヨリ所管換ノ上苫小牧演習林ニ加フ

十　月　大學豫科講堂新築起工ス○是ノ月勇拂郡苫小牧村ニ於テ國有未開地

明治四十一年

一　月　九日水產學科第一年級第三學期ヲ延長ス○是ノ月水產學科忍路臨海實驗所成ル

五　月　一日勅令第百十八號ヲ以テ講座數增加セラル

七　月　六日大學院規程ヲ定ム

八　月　大學豫科講堂成ル

十　月　十三日副手規程ヲ設ク○是ノ月農藝化學科講堂增築起工ス

明治四十二年

三　月　練習船忍路丸成ル

四　月　林學科講堂及畜產學科講堂新築ノ事ヲ決シ尋テ起工ス

五　月　二十四日勅令第百四十三號ヲ以テ講座數增加セラル

九　月　農藝化學講堂成ル○第二農場建物移築起工ス

明治四十三年

三　月　勅令第六十八號ヲ以テ講座數增加セラル

五　月　林學科畜產學科講堂新築落成ス

六　月　大學規則中學科課程及授業時間ヲ改正ス

九　月　十二日大學林學科畜產學科及林學實科ヲ開始ス

十二月　二十一日勅令第四百四十七號ヲ以テ東北帝國大學官制發布明治四十四年一月一日ヨリ施行同時ニ東北帝國大學農科大學官制廢止セラル

明治四十四年

一月一四日文部次官岡田良平東北帝國大學總長事務取扱ヲ命セラレ東北帝國大學農科大學教授農學博士佐藤昌介東北帝國大學農科大學長ニ補セラル

三　月　六日大學規則中大學各學科及大學豫科ノ授業料ヲ改正シ九月一日以後ノ入學者ニ適用ス○是ノ月法律第二十二號ヲ以テ帝國大學特別會計法ヲ改正シ東京帝國大學及京都帝國大學ノ外東北帝國大學及九州帝國大學ニモ四十四年度ヨリ本法ヲ施行セラル○二十四日岡田良平東北帝國大學總長事務取扱ヲ免セラレ澤柳政太郎東北帝國大學總長ニ任セラル

四　月　一日會計課ニ臨時建築係ヲ置キ事務所ヲ札幌市北八條西五丁目ニ設置ス

五　月　二日勅令第百三十四號ヲ以テ林學二講座ヲ四講座ニ獸醫學一講座ヲ二講座ニ增加セラル

八　月　二十六日皇太子殿下本學及附屬植物園博物館等ニ臨啓　御影ヲ下賜セラル

九　月　五日各學科教官聯合協議會規程ヲ廢シ各學科教官協議會規程ヲ改メ九月十一日ヨリ施行ス

明治四十五年

四　月　六日農學實科林學實科土木工學科及水產學科ニ研究生ヲ置クノ規定ヲ設ク

五　月　二十九日勅令第百二十六號ヲ以テ林政學及森林管理學一講座ヲ增加セラル

六　月　一日事務官一名在勤ヲ命セラル

七　月　三十日大正ト改元

大正元年

八　月　三十一日天鹽國天鹽郡幌延村上トイカンベツ下トイカンベツ二萬二千七百三十八町六段七畝二十八步ヲ本學基本林トシテ文部省用地ニ編入セラル

九　月　十二日後志國余市郡余市町大字山田村土地六千九百五十四坪ヲ維持資金ニ編入セラレ余市果樹園ヲ設ク

大正二年
三　月　十五日練習船忍路丸ノ補助機關實馬力六〇(二,五)据付竣工ス○十七日文部省告示第五十二號ヲ以テ札幌農學校ノ資金ニ屬スル北海道土地貸下規程ヲ廢止セラル○十八日東北帝國大學農科大學ノ資金ニ屬スル北海道土地貸下規程ヲ設定セラル
五　月　九日總長澤柳政太郎京都帝國大學總長ニ轉任シ廣島高等師範學校長北條時敬東北帝國大學總長ニ任セラル
六　月　二十四日樺太西海岸珍内川流域ニ於テ森林面積一萬九千九百町歩ヲ本學演習林トシテ樺太廳ヨリ受領ス○三十日本學學則ヲ改正シ農學科ニ第一部第二部及第三部ヲ置キ畜產學科ニ第一部及第二部ヲ置キ且各學科ノ學科目及授業時間數全部ヲ改メ九月十一日ノ新學年ヨリ施行ス
九　月　十九日朝鮮全羅北道茂朱郡及長水郡所在國有林野二萬五千八百八十二町歩ヲ本校演習林トシテ朝鮮總督府ヨリ八十年間貸付セラル
十　月　二十八日後志國余市町大字山田村土地七百五十七坪ヲ内務省ヨリ管

理換ノ上維持資金ニ編入セラル
十二月　農科大學長佐藤昌介,カーネギー財團ノ招聘ニ應シ日米交換教授トシテ渡米ス

大正三年
六　月　天鹽演習林ノ内百四十町六段二畝二十九歩七三三ヲ鐵道院ヘ賣却ス
十二月　十二日天鹽演習林ヲ天鹽第一演習林トイカンベツ演習林ヲ天鹽第二演習林ト改稱ス
七　月　天鹽第一演習林ノ内一段五畝九歩七三六ヲ鐵道院ヘ賣却ス
八　月　日米交換教授トシテ渡米セル農科大學長佐藤昌介歸朝ス
九　月　十二日大學豫科規則中學科課程ヲ改正シ即日ヨリ施行ス
十二月　是ノ年五月工事ニ著手セシ畜產學教室獸醫學教室農學教室圖書館及農學教室附屬溫室增築工事竝植物學實驗室新築工事何レモ落成ス

大正四年
七　月　十三日勅令第百十六號ヲ以テ農學第三講座經濟學財政學講座及應用菌學講座ヲ設ケラル

十　月　二十五日ヲ天皇陛下ノ御眞影下賜セラレ二十七日拜戴式ヲ擧行ス

十二月　十五日第三農場ニ派出所ヲ設ケ第四農場以下各農場看守所ヲ派出所ニ改ム

大正五年

八　月　三日臺灣南投廳埔里社支廳管内守城大山及東眼山官有森林面積約七千百歩ヲ本學臺灣演習林トシテ臺灣總督府ヨリ受領ス

九　月　十六日學則中畜產學科第一部及第二部ノ學科目ヲ改正ス

十　月　二十三日皇后陛下御眞影及皇太子殿下御影下賜セラレ二十五日拜戴式ヲ擧行ス

十二月　本年四月新築ニ著手セシ中央講堂竣工ス

大正六年

八　月　二十五日總長北條時敬學習院長ニ轉任ス

九　月　十一日勅令第百三十九號ヲ以テ農學第四講座ヲ設ケラル

十二月　十五日福原鎭二郎東北帝國大學總長ニ任セラル○是ノ月勇拂郡苫小牧村ニ於テ國有未開地六町七段五畝二十三歩ヲ内務省ヨリ所管換ノ

上苫小牧演習林ニ加フ

大正七年

三　月　三十日勅令第四十三號ヲ以テ札幌ニ帝國大學ヲ置キ北海道帝國大學ト稱シ東北帝國大學農科大學ハ本令施行ノ日(四月一日)ヨリ之ヲ北海道帝國大學農科大學ト爲ス旨公布セラレ勅令第四十四號ヲ以テ北海道帝國大學官制ヲ定メ且大學豫科土木專門部及水產專門部ヲ附屬セシメ各部科ニ主事及生徒監ヲ設ケラル○是ノ月天鹽第二演習林ノ内百四十町八段一畝十三歩ヲ鐵道院ヘ賣却ス

四　月　一日北海道帝國大學農科大學教授農學博士佐藤昌介北海道帝國大學總長ニ兼任且北海道帝國大學農科大學長ニ補セラル

八　月　朝鮮全羅北道茂朱郡茂朱面邑内里ニ於テ苗圃トシテ民有地三千五百餘坪ヲ公債證書ト交換ス

十　月　育種學實驗室及第八農場小作人集會所竝同山部派出所ノ新營成ル

十一月　一日主事主任協議會規程大學豫科及各專門部教授會規程各實科教授會規程ヲ制定シ各學科主任協議會規程竝各學科教授會規程ヲ廢止ス

○二十九日本學規則中改正シ北海道帝國大學祝日ヲ三月十日ニ定ム（大正八年九月更ニ二月六日ニ改ム）○是ノ月朝鮮全羅北道茂朱郡茂朱面邑內里ニ於テ民有地四十坪ノ寄附ヲ受ケ朝鮮演習林附屬苗圃地ニ加フ

十二月　五日勅令第三百八十八號ヲ以テ大學令ヲ公布セラル○同日勅令第十三號ヲ以テ帝國大學令改正セラル○同日勅令第十三號ヲ以テ各大學ノ學部ヲ定メ本學ニハ農學部及醫學部ヲ設置シ本年四月一日ヨリ施行ノ旨公布セラル○同日勅令第十八號ヲ以テ本學農學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ヲ定メラル

大正八年

三月　三十一日勅令第五十七號ヲ以テ北海道帝國大學官制改正セラル

四月　一日教授兼總長農學博士佐藤昌介本官ヲ免シ北海道帝國大學總長ニ專任セラル○同日教授農學博士南鷹次郎北海道帝國大學農學部長ニ補セラル

八月　大正六年九月著手セシ大學豫科講堂ノ增築及本年四月著手セシ寄宿

舍ノ增築工事何レモ落成ス○是ノ月樺太久春內郡久春內町ニ於テ官有地四段三畝六歩同郡三濱村珍內川口ニ於テ官有地七町一畝二十歩ヲ拓殖局ヨリ所管換ノ上樺太演習林附屬廳舍敷地及苗圃ヲ設ク

九月　十一日農學科第一部ヲ農學科ニ同第二部ヲ農業經濟學科ニ同第三部ヲ農業生物學科ニ改メ從來ノ學則全部ヲ廢シ新ニ農學部學則及農學實科林學實科附屬大學豫科同土木專門部同水產專門部等ノ規則ヲ制定シ即日ヨリ施行ス

十二月　經濟學講堂增築工事落成ス

大正九年

三月　天鹽國中川郡常盤村ニ於テ廢川跡地一段二畝二十四歩ヲ內務省ヨリ所管換ノ上天鹽第一演習林ニ加フ

四月　一日附屬水產專門部ノ學年開始期ヲ本年ヨリ四月一日ニ改正

六月　大正六年度ヨリ著手シタル醫學部解剖學法醫學教室及醫學部本館新築落成ス

九月　勅令第三百九十七號ヲ以テ植物學第三講座皮革製造學講座家畜衛生

學講座ヲ設ケラル○十五日醫學部附屬醫院開始準備ノ爲看護法講習
科ヲ設ク○二十五日農學部學則農學實科及林學實科規則竝附屬土木
專門部規則中改正シ學年開始期ヲ四月一日ニ改メ大正十年四月一日
ヨリ施行ス

十一月　醫學部附屬醫院看護婦寄宿舍新築落成ス

大正十年

一月　二十四日附屬大學豫科規則中改正シ學年開始期ヲ四月一日ニ改メ本
年四月一日ヨリ施行ス

三月　二十二日學位令ニ依リ本學學位規程ヲ制定ス

四月　勅令第百十八號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ醫學部ニ附屬醫院ヲ設置セ
ラル○勅令第百十九號ヲ以テ農學部ニ森林工學講座醫學部ニ內科學
外科學解剖學生理學醫化學病理學ノ六講座ヲ設ケラル○文部省令第
二十八號ヲ以テ本學醫學部ハ大正十一年四月ヨリ授業開始ノ旨公布
セラル○十六日農學部學則中學科目全部ヲ改正ス

五月　四日農學實科及林學實科規則中學科目全部ヲ改正ス○十七日教授醫

學博士秦勉造北海道帝國大學醫學部長ニ補セラル

七月　醫學部生理藥物醫化學教室及同講義室新築落成ス

九月　醫學部附屬醫院本館新築落成ス○二十八日醫學部附屬醫院規則ヲ制
定ス

十月　一日醫學部附屬醫院ニ產婆養成所ヲ設置ス

十一月　臺灣臺中州能高郡埔里街ニ於テ臺灣演習林附屬苗圃地トシテ民有地
一甲二分九厘ヲ購入ス

大正十一年

三月　十四日北海道帝國大學評議會規程ヲ制定ス○十七日醫學部學則ヲ制
定シ四月一日ヨリ施行ス○是ノ月朝鮮全羅北道茂朱郡雪川面深谷里
ニ於テ二段七畝六歩同郡安城面竹川里ニ於テ二段三畝二十三歩ノ民
有地ヲ購入シ朝鮮演習林附屬建物敷地ニ充當ス○天鹽第一演習林ノ
內面積三十九町四段八畝七歩ヲ鐵道省ヘ賣却ス

五月　勅令第二百五十七號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ附屬圖書館ヲ設置セラ
ル○勅令第二百六十五號ヲ以テ農學部ニ畜產學第三講座及比較病理

學講座ヲ設ケ醫學部ニ解剖學第二同第三生理學第二病理學第二細菌學耳鼻咽喉科學藥物學眼科學ノ八講座ヲ設ケラル

七　月　十二日　皇太子殿下本學及農學部附屬植物園同博物館ニ臨啓ス

九　月　醫學部病理學細菌學衞生學各教室新築落成ス○次頁第一挿圖

十一月　十五日本學大學院規程ヲ改正シ同時ニ大學院農學部學生規程ヲ廢止ス

大正十二年

三十月　天鹽第一演習林ノ内一町六段七畝十五歩ヲ鐵道省ヘ賣却ス

五　月　勅令第二百四十四號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ附屬大學豫科ノ名稱ヲ單ニ豫科ト改メ五月十六日ヨリ施行セラル○勅令第二百四十五號ヲ以テ醫學部ニ產婦人科學小兒科學皮膚泌尿科學法醫學內科學第二外科學第二ノ六講座ヲ設ケラル○三十一日醫學部醫學講習科規程ヲ設ク

六　月　三十日農學部附屬農場規程ヲ改定ス

十　月　二十七日火災警備規程ヲ改定ス

十二月　工學部本館新築落成ス

大正十三年

三　月　天鹽第一演習林ノ内二十三町七畝五歩天鹽第二演習林ノ内五町六段十七歩ヲ鐵道省ヘ賣却ス○三十一日醫學部附屬醫院病的材料檢查科規程ヲ制定ス

四　月　九日醫學部學則中學科時間配當表其ノ他ヲ改正ス

七　月　勅令第百五十九號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ定員ヲ增加セラル○勅令第百六十三號ヲ以テ農學部ニ農林法律學一講座ヲ設ケ農政學植民學講座ヲ分チテ農政學講座植民學講座ノ二講座ニ改メ又醫學部ニ精神病學衞生學內科學第三ノ三講座ヲ設ケラル

九　月　勅令第二百二十一號ヲ以テ本官制ヲ改正シ定員ヲ增加セラル○勅令第二百二十四號ヲ以テ本學醫學部ノ次ニ工學部ヲ加ヘラル○勅令第二百二十六號ヲ以テ工學部ニ橋梁學鑛山學ノ六講座ヲ設ケラル○二十六日教授工學博士吉町太郎一北海道帝國大學工學部長ニ補セラル

十　月　十四日實科專門部規則中入學資格ニ關スル事項改正ス○三十一日畜産學實驗室新築落成ス○同日雨天體操場新築落成ス

十一月　二十日學生々徒控所新築落成ス

十二月　十五日醫學部臨床講義室新築落成ス○二十四日醫學部附屬醫院耳鼻咽喉科病室新築落成ス

大正十四年

二　月　十二日工學部學則ヲ制定シ即日ヨリ施行ス○十七日天鹽郡幌延村大字幌延村字トイカンベツニ於テ御料地三萬八千二百七十七坪ノ拂下ヲ受ケ天鹽第二演習林苗圃地ヲ設ク○二十日學生々徒診療所規程成ル

三　月　二十五日各部科規則中授業料額ヲ改正ス○三十一日大學院規程中研究料ヲ改正ス○同日和歌山縣東牟婁郡七川村ニ於テ村有地及民有地百二十九萬四千百八十八坪ヲ購入シ和歌山演習林ヲ新設ス

四　月　一日勅令第七十七號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ定員減少セラル

五　月　十八日勅令第百九十七號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ定員增加セラル○

同日勅令第百九十八號ヲ以テ醫學部ニ外科學第三講座ヲ工學部ニ水工學第二講座原動機學第二講座鑛山學第二講座理學第一講座同第二講座應用力學第一講座同第二講座同第三講座及混凝土工學鑛山機械學應用地質學電氣磁氣學電力及電力應用學各一講座計十四講座ヲ增設セラル

六　月　十五日農學部農學實科及林學實科規則附屬土木專門部規則及附屬水產專門部規則中教練教授要目ニ關スル事項ヲ改正ス○二十日醫學部附屬醫院產科婦人科病室新築落成ス○二十五日醫學部學則中入學資格及休學ニ關スル事項改正ス

九　月　二十五日札幌市北一條西二丁目二番地所在本學維持資金所屬附屬地ノ一部五百六十七坪ヲ札幌商業會議所ニ賣却ス○三十日農學部農業經濟學教室竝教官室新築及圖書館閱覽室同事務室增築落成ス

十一月　七日醫學部長教授醫學博士秦勉造依願本官ヲ免セラル○同日教授醫學博士今裕醫學部長ニ補セラル○十五日醫學部附屬醫院第二內科病室同第二外科病室同レントゲン室同藥局同學生控所同事務所附屬倉

庫新築落成ス○三十一日醫學部學生集會所農學部學生集會所農學部農產製造學實驗室新築落成ス

十一月　十五日醫學部附屬醫院事務所新築落成ス

十二月　二十日第一號及第二號傭外國人教師官舍新築落成ス

大正十五年

一月　二十八日札幌市北一條西二丁目一番地所在本學維持資金所屬附屬地ノ一部千二十六坪同市北九、十條西一丁目一、二番地所在附屬地ノ一部三千百八十四坪七合三勺ヲ札幌市ニ賣却ス

三月　十一日農學部家畜病院料金規程ヲ改正ス

五月　十四日高松宮殿下ノ御差遣ヲ辱ウシ本學創基五十周年記念式典ヲ擧行ス來會者文部大臣岡田良平其ノ他朝野ノ名士約千二百名○十五日記念講演會○十六日記念講演會及記念運動競技會ヲ開催ス

六月　十九日勅令第百七十八號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ新ニ司書官一人ヲ置カル○同日勅令第百八十四號ヲ以テ工學部ニ鐵道學電氣機械學電力及電力應用學各一講座ヲ增設シ又新ニ機械工作學選鑛學燃料學各一講座ヲ設ケラル

七月　二十三日高松宮殿下ヨリ北海道開拓研究奬學ノ思召ヲ以テ金五千圓下賜セラル

九月　一日產婆養成所規程改正ス○十五日札幌市北五、六、七條所在原野千三百六十二坪二合四勺ヲ第一農場敷地トシテ又渡島國龜田郡七飯村大字七飯村字中須田所在原野千百七十七坪九合二勺五才ヲ第七農場敷地トシテ北海道廳ヨリ管理換ヲ受ケ同月三十日本學維持資金ニ編入ス○十五日附屬水產專門部養殖實驗室新築落成ス○三十日本學寄宿舍規程改正シ十月一日ヨリ施行ス

十月　十六日醫學部附屬醫院料金規程ヲ改正シ十一月一日ヨリ施行ス○二十三日農學部應用菌學實驗室及特別實驗室新築落成ス○二十五日朝鮮演習林苗圃看守所新築落成ス○三十日醫學部附屬醫院皮膚泌尿科病室及同上小兒科病室新築落成ス

十一月　二十二日第三號及第四號傭外國人教師官舍新築落成ス

十二月　十日農學部實驗室及同上植物學講義室、準備室、實驗室新築落成ス

十二月　二十五日昭和ト改元

昭和二年

二月　七日大正天皇大喪儀遙拜式ヲ午後六時ヨリ雨天體操場ニ於テ嚴肅ニ擧行ス

三月　二十四日學生々徒服制中改正四月一日ヨリ施行ス○三十一日本學天鹽第一演習林ト同第二演習林トヲ合併シ四月一日ヨリ天鹽演習林ト改稱ス○同日和歌山演習林廳舍、宿舍及同上寄宿舍新築落成ス

四月　一日本學通則ヲ制定シ竝農學部、醫學部、工學部、農學實科及林學實科規則ヲ改正シ同時ニ大學院規程ヲ廢止ス○八日高松宮御寄附奬學賞金授與規則設定即日ヨリ施行ス○二十八日農學部長教授農學博士南鷹次郎依願本官ヲ免セラル○九日練習六日教授法學博士農學博士高岡熊雄農學部長ニ補セラル

五月　船おしよろ丸成ル(登簿噸數二百二十三噸四七〇十七日天鹽第二演習林ニ於テ砂鐵權(鑛區面積三二九,〇〇〇坪)ヲ設定ス○二十七日理學博士宮部金吾竝農學博士南鷹次郎敦モ北海道帝國大學名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル

六月　二十九日醫學部附屬醫院料金規程中改正

十月　七日勅令第三百三號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ新ニ書記官一人ヲ置キ且ツ助手其他ノ定員ヲ增加セラル

十二月　八日醫學部附屬醫院精神科病室新築落成ス

昭和三年

一月　二十一日農學博士橋本左五郎北海道帝國大學名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル

三月　二十三日農學部附屬第八農場敷地ノ中三,五一七坪七四二七ヲ富良野町ニ賣却ス○二十六日附屬水產專門部規則中學科規程ノ一部改正○二十九日工學部規則中學科規程ノ一部改正

六月　一日天鹽演習林ヲ天鹽第一演習林竝天鹽第二演習林ト改稱ス○二十九日船舶職員規程改正

九月　八日雨龍演習林敷地ノ一部一六,三五〇,〇〇〇坪ヲ雨龍電力株式會社ニ賣却ス○九日天鹽第二演習林八線ノ澤看守所新築落成ス○三十日

農學部皮革製造實驗室新築落成ス

十月九日兩陛下御眞影奉戴式ヲ擧行ス○同日雨龍演習林三股看守所新築落成ス○二十九日勅令第二百五十三號ヲ以テ本學官制ヲ改正シ書記官竝學生監ヲ廢シ學生主事及學生主事補ヲ置カル○三十一日工學部印刷室新築落成ス

十一月十日天皇陛下御即位禮奉祝式ヲ午後二時半ヨリ雨天體操場ニ於テ擧行ス○同日總長佐藤昌介勳功ニ依リ特ニ男爵ヲ授ケラル

昭和四年

一月十五日第七農場附屬地ノ中一五四,七六九坪四六及建物全部ヲ同農場小作人ニ賣却ス○三十日練習船監督規程制定

二月二日練習船おしよろ丸規程中改正○十四日教授醫學博士今裕依願醫學部長ヲ解カル○十九日豫科規則中改正

三月五日工學部規程中改正○十二日教授醫學士山崎春雄醫學部長ニ補セラル○十九日文部省告示第百三十號ヲ以テ第十六臨時教員養成所ヲ附設セラレ學科ヲ博物學科ト定メラル○二十日本學通則竝農學部實

科規程豫科土木專門部水產專門部規則中授業料改正○二十六日附屬水產專門部規則中改正

四月一日醫學部規程中改正

六月二十四日土木專門部規則中變更

七月十二日醫學部附屬醫院料金規程中改正

八月十日理學博士八田三郎北海道帝國大學名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○三十一日醫學部附屬醫院傳染病室新築落成ス

九月三十日農學部農學教室附屬交配室新築落成ス

十月五日樺太演習林苗圃地ニ派出所竝官舍新築落成ス○十五日農學部畜產學科附屬家畜病院廐舍新築落成ス○二十五日土木專門部教室新築落成ス○二十七日理學部附屬臨海實驗所敷地トシテ北海道廳ヨリ釧路國厚岸郡厚岸町ニ五,六七九坪ノ寄附ヲ受ク○二十八日附屬水產專門部練習船忍路丸ヲ少年團日本聯盟ニ賣却ス○三十日附屬醫院外科第一研究室新築落成ス○同日附屬圖書館製本室新築落成ス

十一月十日理學部本館及圖書閱覽室新築落成ス○十三日理學部敷地トシテ

六、五六八坪三九五ヲ農學部敷地ヨリ整理換シ又農學部第二農場敷地ノ一部六、〇〇〇坪二五八ヲ運動場敷地トシテ本部敷地ニ用途變更ス

〇三十日附屬醫院第一內科研究室新築落成ス〇

十二月　十七日勅令第三五六號ヲ以テ北海道帝國大學官制ヲ改正シ定員ヲ增加セラル〇天鹽第二演習林敷地トシテ二六〇坪九三ノ寄附ヲ受ク

昭和五年

一　月　二十五日國有未開地一〇、一六〇坪第二農場敷地九、二八三坪ヲ相互管理換ス

二　月　二十日工學部規程中改正

三　月　十八日理學部規程制定〇同日本學通則中改正〇二十六日學生生徒服制中改正〇二十七日第七農場敷地八六、一三一坪九九五、立木五石四斗ヲ小作人ヘ賣却シタルニ依リ同農場廢止ス〇同日勅令第五十一號ヲ以テ北海道帝國大學官制ヲ改正シ定員ヲ增加セラル〇同日勅令第五十二號ヲ以テ北海道帝國大學工學部ノ次ニ理學部ヲ加ヘラル〇同日勅令第五十三號ヲ以テ本學理學部ニ數學二講座、物理學二講座、化學三

講座、地質學鑛物學二講座、動物學一講座ヲ設ケラル

四　月　一日教授理學博士眞島利行理學部長ニ補セラル〇二十八日理學部蓄電池室、機械工場、溫室附屬室、同網室、動物飼育室等新築落成ス

十一月　七日農學部農業經濟學研究室增築落成ス〇十日農學部畜產學教室附屬動物室及醫學部衞生學教室附屬動物室新築落成ス

十二月　八日工學部熱機關學教室附屬瓦斯發生爐室新築落成ス〇十九日北海道帝國大學總長農學博士男爵佐藤昌介依願本官ヲ免セラル〇同日北海道帝國大學名譽教授農學博士南鷹次郎北海道帝國大學總長ニ任セラル

昭和六年

二　月　五日　兩陛下ノ御眞影下賜セラレ七日奉戴式テ擧行ス

三　月　二日農學博士男爵佐藤昌介北海道帝國大學名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル〇十日教授醫學士山崎春雄依願醫學部長ニ補セラル〇同日教授醫學博士中村豐醫學部長ヲ解カル〇同日教授醫學博士香宗我部壽依願醫學部附屬醫院長ヲ解カル〇同日教授醫學博士大野精七醫學部附屬

醫院長ニ補セラル○三十日武道場新築落成ス○同日農學部畜產學實驗室新築落成ス○同日醫學部附屬醫院產婆養成所規則竝看護法講習科規則中改正○三十一日理學部長教授理學博士眞島利行依願兼官ヲ免セラル○同日教授農學博士理學博士田所哲太郎理學部長ニ補セラル

四月　十四日工學部規程中改正

五月　八日勅令第七十六號ヲ以テ北海道帝國大學官制ヲ改正シ定員ヲ增加シ同時ニ理學部ニ附屬臨海實驗所ヲ設置セラル○同日勅令第七十七號ヲ以テ理學部ニ物理學二講座、化學一講座、地質學鑛物學一講座、植物學一講座、動物學一講座ヲ孰レモ增設セラル

六月　十五日教授法學博士高岡熊雄依願農學部長ヲ解カル○同日教授農學博士須田金之助農學部長ニ補セラル○三十日教授工學博士吉町太郎一依願工學部長ヲ解カル○同日教授工學士阿久津國造工學部長ニ補セラル

七月　二十一日勅令第百九十五號ヲ以テ北海道帝國大學官制ヲ改正シ定員

ヲ增加セラル

○大學ニ關スル法令規程

大學令

（大正七年十二月五日勅令第三百八十八號）

改正（昭和三年一月十九日勅令第七號）

第一條　大學ハ國家ニ須要ナル學術ノ理論及應用ヲ教授シ竝其ノ蘊奥ヲ攻究スルヲ以テ目的トシ兼テ人格ノ陶冶及國家思想ノ涵養ニ留意スヘキモノトス

第二條　大學ニハ數個ノ學部ヲ置クヲ常例トス但シ特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一個ノ學部ヲ置クモノヲ以テ一大學ト爲スコトヲ得

學部ハ法學、醫學、工學、文學、理學、農學、經濟學及商學ノ各部トス

特別ノ必要アル場合ニ於テ實質及規模一學部ヲ構成スルニ適スルトキハ前項ノ學部ヲ分合シテ學部ヲ設クルコトヲ得

第三條　學部ニハ研究科ヲ置クヘシ

數個ノ學部ヲ置キタル大學ニ於テハ研究科間ノ聯絡協調ヲ期スル爲之ヲ綜合シテ大學院ヲ設クルコトヲ得

第四條　大學ハ帝國大學其ノ他官立ノモノノ外本令ノ規程ニ依リ公立又ハ私立

トス爲スコトヲ得

第五條　公立大學ハ特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道及府縣及市ニ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

第六條　私立大學ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　前條ノ財團法人ハ大學ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少ナクトモ大學ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財產ヲ有スルコトヲ要ス基本財產中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大臣ノ定ムル有價證券トシテ之ヲ供託スヘシ

第八條　公立及私立ノ大學ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ學部ノ設置廢止亦同シ

前項ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

第九條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリ

ト認メラレタル者トス

入學ノ順位ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　學部ニ三年以上在學シ一定ノ試驗ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上トス

第十一條　研究科ニ入ルコトヲ得ル者ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上其ノ他ノ者ニ在リテハ三年以上當該學部ニ在學シ其ノ他相當ノ學力ヲ具ヘタル者ニシテ當該學部ニ於テ適當ト認メタルモノトス

第十二條　大學ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得

大學豫科ニ於テハ高等學校高等科ノ程度ニ依リ高等普通教育ヲ爲スヘシ

第十三條　大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者又

ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十四條　大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等科ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　大學豫科ノ生徒定數ハ每年ノ豫科修了者ノ員數カ其ノ年當該大學ニ收容シ得ル員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條　大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍內ニ於テ當該大學之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置クヘシ

第十八條　私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第十九條　公立及私立ノ大學ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第二十條　文部大臣ハ私立及公立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ依ラサル學校ハ勅令規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ要スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ施行ス

本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウル學校ニハ當分ノ内第二十一條ノ規定ヲ適用セス

帝國大學令

（大正八年二月六日勅令第十二號）

第一條　帝國大學ハ數個ノ學部ヲ綜合シテ之ヲ構成ス

第二條　各帝國大學ニ置ク學部ノ種類ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　帝國大學ニ大學院ヲ置ク

第四條　帝國大學ニハ官制ノ定ムル所ニ依リ總長、學部長、教授、助教授其ノ他必要ナル職員ヲ置ク

必要アル場合ニ於テハ帝國大學總長ハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第五條　帝國大學ニ評議會ヲ置キ各學部長及各學部ノ教授二人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

帝國大學總長ハ評議會ヲ召集シ其ノ議長トナル

第六條　教授ニシテ評議員タル者ハ各學部毎ニ教授ノ互選ニ依リ文部大臣之ヲ命ス

前項評議員ノ任期ハ三年トス

第七條　評議會ハ左ノ事項ヲ審議ス

一　學部ニ於ケル學科ノ設置及廢止

二　講座ノ設置及廢止ニ付諮詢シタル事項

三　大學内部ノ制規

四　其ノ他文部大臣又ハ帝國大學總長ノ諮詢シタル事項

評議會ハ高等教育ニ關スル事項ニ付意見ヲ文部大臣ニ建議スルコトヲ得

第八條　學部ニ教授會ヲ置キ教授ヲ以テ之ヲ組織ス

學部長ハ教授會ヲ召集シ其ノ議長トナル

第九條　教授會ハ左ノ事項ヲ審議ス

一　學部ノ學科課程ニ關スル事項

二　學生ノ試驗ニ關スル事項

三　其ノ他文部大臣又ハ帝國大學總長ノ諮詢シタル事項

第十條　學部長ハ必要アリト認ムルトキハ助教授又ハ囑託講師ヲ教授會ニ列席セシムルコトヲ得

第十一條　學部ニ講座ヲ置ク

講座ハ教授ヲシテ之ヲ擔任セシム但シ教授ヲ缺ク場合其ノ他特別ノ事情アル場合ニ於テハ助教授又ハ囑託講師ヲシテ之ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十二條　講座ノ種類及其ノ數ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條　帝國大學ニ功勞アリ又ハ學術上效績アル者ニハ勅旨ニ依リ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトアルヘシ

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

帝國大學及其ノ學部（大正八年二月六日勅令第十三號）

改正（大正八年五月勅令第二百三十五號、同年同月勅令第二百五十五號、同十一年八月勅令第三百九十六號、同十三年九月勅令第二百二十四號、昭和五年三月勅令第五十二號）

帝國大學及其ノ學部ハ左ノ如シ

東京帝國大學
- 法學部
- 醫學部
- 工學部
- 文學部
- 理學部
- 農學部
- 經濟學部

京都帝國大學
- 法學部
- 醫學部
- 工學部
- 文學部
- 理學部
- 經濟學部

農學部
東北帝國大學
理學部
醫學部
工學部
法文學部
九州帝國大學
醫學部
工學部
農學部
法文學部
北海道帝國大學
農學部
醫學部
工學部

理學部

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ法科大學、醫科大學、工科大學、文科大學、理科大學、農科大學ハ各本令ノ法學部、醫學部、工學部、文學部、理學部、農學部トス

明治三十年勅令第二百八號、同年勅令第二百九號、明治四十年勅令第二百三十六號、明治四十三年勅令第四百四十八號及大正七年勅令第四十三號ハ之ヲ廢止ス

大學規程

（大正八年三月二十九日文部省令第十一號）

改正（大正八年十二月文部省令第三十九號）（昭和四年六月文部省令第三十一號）

第一條　公立又ハ私立ノ大學ノ設立ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

一　大學ノ名稱
二　學部ノ種類及名稱
三　大學院及大學豫科ノ設否

四　學則
五　位置及校地
六　校舍ノ圖面及建設ノ設計
七　各學部及大學豫科在學者定數
八　各學部專任教員數
九　學部學科又ハ大學豫科開設ノ期日
十　經費及維持ノ方法
前項第五號ニ關シテハ校地ノ地質及面積竝附近ノ狀況ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添附スヘシ

第一項各號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二條　公立又ハ私立ノ大學ノ廢止ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及在學者ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ學部ノ廢止ニ付亦同シ

第三條　大學ハ其ノ目的及規模ニ應シ教授上及研究上必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第四條　學部ノ入學ニ關シ高等學校高等科ヲ卒リタル者ト同等以上ノ學力アリト認ムヘキ者ハ當該大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第五條　高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有スル者ハ大學豫科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ大學豫科ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

一　專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

二　文部大臣ニ於テ一般專門學校ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

三　文部大臣ニ於テ特種ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項第三號ニ該當スル者ノ進入シ得ヘキ大學ニ於テ學則中ニ之ヲ定ムヘシ

第七條　大學ハ學則ニ於テ學部ニ入學スルニ必要ナル資格ヲ有スル者ニ就キ入學ノ順位ヲ定ムルコトヲ得

第八條　同順位ニ在ル學部入學志願者ノ數收容シ得ヘキ人員ニ超過スル場合ニ於テ行フヘキ選拔ノ方法ニ關シテハ大學ニ於テ學則中ニ之ヲ定ムヘシ

第九條　大學令第十八條ノ規定ニ依リ教員ノ採用ニ付文部大臣ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ申請書ニ擔任學科目ヲ記載シ本人ノ履歷書及戸籍抄本ヲ添附スヘシ

第十條　大學ハ教育上必要ト認メタルトキハ在學者ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十一條　學則中ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一　學部及大學豫科ノ學科課程ニ關スル事項

二　研究科及大學院ニ關スル事項

三　學部ノ在學年限竝大學豫科ノ修業年限ニ關スル事項

四　學士ノ稱號ニ關スル事項

五　試驗竝課程修了ノ認定ニ關スル事項

六　學年、學期及休業日ニ關スル事項

七　入學、退學及懲戒ニ關スル事項

八　授業料、入學料等ニ關スル事項

第十二條　大學ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則及教授時間配當表

二　職員ノ名簿及履歷書

三　在學者學籍簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類

四　試驗ノ問題及成績表

在學者學籍簿ニハ在學者ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學、轉學、退學ノ年月日及試驗合格ノ年月日、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第十三條　私立ノ大學ニ關シ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大學特別會計法

（大正十年三月二十九日法律第十一號）

改正（大正十一年三月法律第八號、同十二年三月法律第十八號）（同十三年七月法律第九號、同十四年三月法律第十七號）

第一條　帝國大學及其ノ他ノ官立大學ハ各之ヲ通シテ一ノ特別會計ヲ立テ資金ヲ所有シ政府ノ支出金、資金ヨリ生スル收入、授業料、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ一切ノ歲出ニ充テシム

第二條　前條ノ政府支出金ハ每年度豫算ノ定ムル所ニ依リ一般會計ヨリ之ヲ繰入ルヘシ

第二條ノ二　帝國大學ノ資金及歲入歲出ハ帝國大學每ニ區分シ之ヲ整理スヘシ

第三條　帝國大學及官立大學ノ資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他ヨリ寄附シタル動產及不動產竝歲入殘餘ヨリ成ル但シ官立大學ニ在リテハ第七條ノ施行豫算ノ歲入殘餘ニシテ資金ニ編入シタルモノハ官立大學每ニ區分シ之ヲ整理スヘシ

第四條　大學ノ歲出ニ充ツル爲必要アルトキハ其ノ資金ヲ支消スルコトヲ得但シ用途指定ニ係ル資金ニ付テハ用途指定者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五條　政府ハ每年帝國大學及官立大學ノ特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條　（削除）

第七條　文部大臣ハ歲入歲出豫算決定ノ各大學每ニ歲入歲出ノ施行豫算ヲ調製シ當該大學ノ總長又ハ學長ヲシテ之ヲ施行セシムヘシ

文部大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項以外ノ者ヲシテ歲入歲出豫算ノ一部ヲ施行セシムルコトヲ得

第八條　大學ニ於テ外國ヨリ直接ニ圖書、機械、標本又ハ實驗用材料ノ買入ヲ爲ス場合ニハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第九條　寄附金ニシテ特ニ用途ヲ指定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ使用スヘシ

第十條　奬學ヲ目的トスル寄附金ハ之ヲ當該大學ニ交付シ總長又ハ學長ニ經理ヲ委任スルコトヲ得

第十一條　委任經理ニ係ル會計ノ檢查ハ會計檢查院法第十六條ノ規定ニ依ル

第十二條　大學ニ屬スル收入ヲ以テ其ノ歲出ヲ支辨シ別ニ政府支出金ヲ要セサルニ至リタルトキハ當該大學ノ爲ニ特別會計ヲ設クルモノトス

第十三條　大學特別會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條　官立大學ノ創設費ハ第一條ノ規定ニ拘ラス一般會計ノ所屬トス

第十五條　官立大學ノ創設ニ付一般會計及學校及圖書館特別會計ニ關涉シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本法ハ大正十四年度ヨリ之ヲ施行ス

大正八年法律第十二號ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ際ニ於ケル各帝國大學ノ資金及大正十三年度各帝國大學特別會計ノ歳入殘餘ハ之ヲ帝國大學資金ニ編入スヘシ

本法施行ノ際ニ於ケル學校及圖書館資金ニシテ京都帝國大學及東北帝國大學ノ用ニ供スルモノハ之ヲ帝國大學資金ニ編入シ各之ヲ當該大學ノ資金トシテ區分整理スヘシ

大正十三年度各帝國大學特別會計歳入歳出豫算中翌年度ニ繰越ヲ要スルモノハ帝國大學特別會計ニ繰越使用スヘシ

北海道帝國大學官制（大正七年三月三十日勅令第四十四號）

改正

大正七年六月勅令第二百六十八號、同八年三月勅令第五十七號
同八年九月勅令第四百十六號、同九年五月勅令第百七十號
同九年九月勅令第三百九十六號、同十年四月勅令第百十八號
同十一年五月勅令第二百五十七號、同十二年五月勅令第二百四十四號
同十三年七月勅令第百五十九號、同十三年九月勅令第二百二十一號
同十四年四月勅令第七十七號、同十四年五月勅令第百九十七號
同十五年六月勅令第百七十八號、昭和二年十月勅令第三百三號
同三年十月勅令第二百五十三號、同四年十二月勅令第三百五十六號
同五年三月勅令第五十一號、同六年五月勅令第七十六號
同六年七月勅令第百九十五號

第一條　北海道帝國大學ニ左ノ職員ヲ置ク

總長
教授
助教授
事務官
學生主事
司書官
助手
書記
學生主事補
司書
技手

第二條　總長ハ一人勅任トス文部大臣ノ監督ヲ承ケ北海道帝國大學一般ノ事ヲ掌リ所屬職員ヲ統督ス

總長ハ高等官ノ進退ニ關シテハ文部大臣ニ具狀シ判任官ニ關シテハ之ヲ專行

ス

第二條ノ二　教授ハ專任百一人奏任又ハ勅任トス各學部ニ分屬シテ其ノ講座ヲ擔任シ學生ヲ教授シ其ノ研究ヲ指導ス

教授ニシテ學部長又ハ醫學部附屬醫院長ニ補セラレタル者ニハ講座ヲ擔任セシメサルコトヲ得

第二條ノ三　助教授ハ專任九十人奏任トス各學部ニ分屬シ教授ヲ助ケテ授業及實驗ニ從事ス

講座ヲ擔任スル助教授ハ前項ノ定員外トス但シ講座ヲ分擔スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　事務官ハ專任二人奏任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ分掌ス

第四條　學生主事ハ專任三人奏任トス總長ノ命ヲ承ケ學生及生徒ノ指導監督ヲ掌ル

第四條ノ二　司書官ハ專任一人奏任トス上官ノ命ヲ承ケ附屬圖書館ニ於ケル圖書記錄及閱覽ニ關スル事務ヲ掌理ス

第四條ノ三　助手ハ專任百九十五人判任トス各學部ニ分屬シ教授又ハ助教授ノ

指揮ヲ承ケ學術ニ關スル職務ニ服ス

第五條　書記ハ專任四十六人判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第五條ノ二　學生主事補ハ專任三人判任トス上官ノ命ヲ承ケ學生主事ノ職務ヲ助ク

第五條ノ三　司書ハ專任三人判任トス上官ノ命ヲ承ケ附屬圖書館ニ於ケル圖書記錄ノ整理保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス

第五條ノ四　技手ハ專任二人判任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第六條　各學部ニ學部長一人ヲ置キ其ノ學部ニ屬スル教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

學部長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ其ノ學部ノ事ヲ掌ル

第七條　農學部ニ附屬植物園附屬農場及附屬演習林ヲ置ク

植物園ニ植物園長、農場ニ農場長、演習林ニ演習林長ヲ置キ農學部ニ屬スル教授又ハ助教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

植物園長、農場長及演習林長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ各其ノ事務ヲ掌理ス

第八條　醫學部ニ附屬醫院ヲ置ク

醫院ニ醫院長ヲ置キ醫學部ニ屬スル教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

醫院長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ醫院ノ事務ヲ掌理ス

第九條　醫院ニ藥局長ヲ置ク專任一人奏任トス

藥局長ハ醫院藥局ノ事務ヲ掌理ス

第十條　醫院ニ藥劑手ヲ置ク專任十人判任トス

藥劑手ハ藥局長ノ指揮ヲ承ケ醫院藥局ニ關スル職務ニ服ス

第十一條　醫院ニ看護長ヲ置ク專任十四人判任トス

看護長ハ上官ノ命ヲ承ケ醫院ニ於ケル看護ニ關スル職務ニ服ス

第十一條ノ二　理學部ニ附屬臨海實驗所ヲ置ク

臨海實驗所ニ臨海實驗所長ヲ置キ理學部ニ屬スル教授又ハ助教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

臨海實驗所長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ臨海實驗所ノ事務ヲ掌理ス

第十二條　北海道帝國大學ニ豫科ヲ置キ教授專任四十一人助教授專任九人ヲ置ク

教授ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

豫科ニ主事ヲ置キ豫科教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

主事ハ總長ノ命ヲ承ケ豫科ノ事務ヲ掌理シ職員ヲ監督ス

第十三條　北海道帝國大學ニ附屬土木專門部及附屬水產專門部ヲ置キ教授專任十六人助教授專任十人技手專任二人ヲ置ク

教授ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

技手ハ判任トス技術ニ從事ス

各專門部ニ主事ヲ置キ專門部教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

主事ハ總長ノ命ヲ承ケ各專門部ノ事務ヲ掌理シ職員ヲ監督ス

第十四條　北海道帝國大學ニ附屬圖書館ヲ置ク

圖書館ニ圖書館長ヲ置ク教授又ハ司書官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

圖書館長ハ總長ノ監督ノ下ニ於テ圖書館ノ事務ヲ掌理ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

北海道帝國大學各學部講座

（大正八年二月六日勅令第十八號）

改正　大正九年九月勅令第三百九十七號、同十年四月勅令第百十九號、同十一年五月勅令第二百六十五號、同十二年五月勅令第百四十五號、同十三年七月勅令第百六十三號、同十四年五月勅令第二百二十六號、昭和四年四月勅令第百九十八號、同五年三月勅令第百八十四號、同六年五月勅令第七十七號

北海道帝國大學各部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數左ノ如シ

農學部

農學	四講座
農藝化學	三講座
農藝物理學	一講座
植物學	三講座
動物學昆蟲學養蠶學	三講座
園藝學	一講座
畜產學	三講座

農政學	一講座
林學	四講座
林政學及森林管理學	一講座
農產製造學	一講座
獸醫學	一講座
經濟學、財政學	一講座
應用菌學	一講座
皮革製造學	一講座
家畜衞生學	一講座
比較病理學	一講座
森林工學	二講座
農林法律學	一講座
植民學	一講座

醫學部

內科學	三講座	
外科學	三講座	
解剖學	三講座	
生理學	二講座	
醫化學	一講座	
病理學	二講座	
細菌學	一講座	
耳鼻咽喉科學	一講座	
藥理學	一講座	
眼科學	一講座	
產婦人科學	一講座	
小兒科學	一講座	
皮膚泌尿科學	一講座	
法醫學	一講座	
精神病學	一講座	

衛生學	一講座

工學部

橋梁學	一講座
鐵道工學	一講座
水工學	二講座
電氣機械學	一講座
原動機學	一講座
鑛山學	一講座
理學	一講座
應用力學	二講座
混凝土工學	一講座
鑛山機械學	一講座
應用地質學	一講座
電氣磁氣學	一講座

電力及電力應用學　二講座
機械工作學　一講座
選鑛學　一講座
燃料工學　一講座

理學部

數學　二講座
物理學　四講座
化學　四講座
地質學鑛物學　三講座
植物學　四講座
動物學　二講座

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

學位令

（大正九年七月五日勅令第二百號）

第一條　學位ハ博士トス

第二條　學位ハ大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ授與ス

第三條　博士ノ種類ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　學位ヲ授與セラルヘキ者ハ大學學部研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シ論文ヲ提出シテ學部教員會ノ審査ニ合格シタル者又ハ論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ學部教員會ニ於テ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

第五條　學部教員會ハ前條ノ論文審査ニ付其ノ提出者ニ對シ試問ヲ行フコトヲ得

第六條　大學ニ於テ學位授與ノ認可ヲ申請スルトキハ論文及其ノ審査ノ要旨ヲ添附スヘシ

第七條　學位ヲ授與セラレタル者ハ授與ノ日ヨリ六月內ニ其ノ提出ニ係ル論文ヲ印刷公表スヘシ但シ學位授與前既ニ印刷公表セラレタルモノナルトキ又ハ文部大臣ニ於テ其ノ印刷公表ヲ相當ナラスト認メタルモノナルトキハ此ノ限

ニ在ラス

第八條　大學ハ論文ノ審査ニ付手數料ヲ徴收スルコトヲ得

第九條　學部教員會ニ於ケル論文審査ノ手續其ノ他學位ニ關スル規程ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條　學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ大學ニ於テ學位ニ關スル規程ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十一年勅令第三百四十四號學位令及博士會規則ハ之ヲ廢止ス但シ舊令ニ依リ授與シタル學位ハ仍其ノ効力ヲ有ス

本令施行前論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シタル者ニ對シテハ舊令ニ依リ學位ヲ授與ス

舊令ニ依ル學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ文部大臣其ノ學位ヲ褫奪ス

北海道帝國大學學位規程

（大正十年三月二十二日制定）

改正（大正十五年八月）

第一條　本學ニ於テ授與スル學位ハ左ノ五種トス

農學博士
林學博士
獸醫學博士
醫學博士
工學博士

第二條　本學大學院ニ於テ二年以上研究ニ從事シタル者學位ヲ得ントト欲スルトキハ其ノ研究シタル事項ニ就キ論文ヲ其ノ在院中又ハ退院後一箇年以内ニ當該學部長ニ提出スヘシ

前項以外ノモノニシテ學位ヲ請求セントスル者ハ論文ニ履歴書ヲ添ヘ其ノ請求スル學位ノ種類ヲ指定シテ總長ニ提出スヘシ

第三條　論文ハ一論文トス但シ參考トシテ他ノ論文ヲ附加スルコトヲ得

論文ハ日本文、英文、獨文又ハ佛文タルコトヲ要ス

論文ハ二通提出スヘシ

第四條　第二條第二項ニヨリ學位ヲ請求スル者ハ審査手數料金百圓ヲ本學ニ納付スヘシ

第五條　論文ハ之ヲ學部教授會ノ審査ニ付スルモノトス

第六條　學部教授會ハ其ノ審査ニ付セラレタル論文ニ就キ教授ノ中ヨリ二人以上ノ委員ヲ選定シ之ヲ審査セシムルモノトス

必要アルトキハ他ノ學部ニ屬スル教授ニ審査委員ヲ依囑スルコトヲ得

第二條第二項ニヨル論文提出者ニ對シテハ必要アル場合ニ口述又ハ筆記ニテ試問ヲ行フコトアルヘシ

第七條　審査委員ハ一箇年以内ニ其ノ審査ノ結果ヲ教授會ニ報告スヘキモノトス但シ特別ノ事情アルトキハ教授會ノ決議ニヨリ審査期限ヲ延長スルコトヲ得

第八條　審査ノ結果ニ就キ教授會ニ於テ議決ヲ爲スニハ教授全員ノ四分ノ三以上ノ出席アルコトヲ要ス

審査ノ合格若ハ之ト同等以上ノ學力アリトノ認定ハ出席數ノ四分ノ三以上ノ多數ニヨリテ之ヲ決スルモノトス

第九條　前條第二項ノ決議アリタルトキハ學部長ハ該論文及審査ノ要旨ヲ添ヘ之ヲ總長ニ申報スルモノトス

第二條第二項ニヨル場合ニシテ可決ナキトキハ學部長ハ其ノ論文ヲ添ヘ之ヲ總長ニ申報スルモノトス

第十條　提出シタル論文及納付シタル審査手數料ハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セス

第十一條　學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ總長ハ教授會ノ議決ニヨリ文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消シ學位記ヲ還付セシムルモノトス

前項ノ議決ニハ教授全員ノ四分ノ三以上ノ出席アルコトヲ要シ出席數ノ四分ノ三以上ノ多數ニヨリ之ヲ決ス

第十二條　學位記ノ樣式ハ左ノ如シ

學位記

右北海道帝國大學大學院ニ於テ研究ヲ遂ケ論文ヲ提出シテ何學部教授會ノ審査ニ合格セリ仍テ大正九年勅令第二百號學位令第二條ニ依リ茲ニ何學博士ノ學位ヲ授ク

年　月　日　北海道帝國大學總長位勳功爵　氏　名印

學印

割印番號

學位記

族籍位勳功爵　氏　名

右北海道帝國大學何學部教授會ニ於テ其ノ提出セル論文ヲ審査シ學位ヲ授クベキモノト認メタリ仍テ大正九年勅令第二百號學位令第二條ニ依リ茲ニ何學博士ノ學位ヲ授ク

年　月　日　北海道帝國大學總長位勳功爵　氏　名印

學印

割印番號

北海道帝國大學副手規程

（明治四十一年十月十三日伺定）
改正（大正元年九月）

第一條　學部ノ教室實驗場ニ副手ヲ置ク無給トス但シ特ニ手當ヲ給スルコトアルヘシ

第二條　副手ハ大學院若ハ學部ヲ卒業シタル者又ハ學部助手タルコトヲ得ル者ノ志願ニ依リ總長之ヲ囑託ス

第三條　副手ハ其ノ職掌學部助手ニ異ナルコトナク總テ北海道帝國大學一般ノ規則ヲ遵守スヘシ

第四條　副手ニシテ二箇年以上職務ニ服シ成績アル者ニハ總長ヨリ證明書ヲ付與ス

文部部内臨時職員設置制

（大正九年八月二十六日勅令第二百九十三號）

改正（大正十年六月勅令第二百六十二號、同年十一月勅令第四百三十一號、同十一年三月勅令第百四十號、同十二年五月勅令第二百七十三號、同十三年十一月勅令第二百二十一號及勅令第二百六十四號、同十四年五月勅令第二百三號、同十五年五月勅令第百十五號、昭和二年十二月勅令第三百六十三號、同三年十二月勅令第二百八十二號、同四年六月二十九日勅令第二百十八號）

第一條　高等諸學校ノ創設及擴張ニ關スル事務ニ從事セシムル爲文部省ニ左ノ職員ヲ增置ス

文部事務官　專任一人　奏任
技師　專任三人
屬　專任九人
技手　專任六人

第二條　臨時建築ノ事務ニ從事セシムル爲文部省帝國大學及官立大學ヲ通シテ左ノ職員ヲ增置ス

技師　專任十三人
屬　專任二人

書記　專任二人
技手　專任四十三人

前項職員ノ俸給ハ臨時建築費ヨリ之ヲ支辨ス

第三條　以下（省略）

雇外國人ニ關スル勅令

（明治二十六年九月九日勅令第九十六號）

改正（大正九年三月勅令第七十四號）

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長、官立大學長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニ當ラシムルコトヲ得

外國人特別入學規程

（明治三十四年十一月十一日文部省令第十五號）

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規程ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介スルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設置上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ付與スヘシ

第五條　本令ノ規程ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附則

第七條、第八條(省略)

○職員

○北海道帝國大學職員

總長　農學博士農學士　南鷹次郎

評議員

農學部教授	林學博士林學士	新島善直
農學部長	農學博士農學士	須田金之助
農學部教授	農學博士農學士	明峰正夫
工學部教授	工學博士工學士	倉塚良夫
工學部教授	工學博士工學士	小川敬次郎
理學部長	農學博士理學博士農學士	田所哲太郎
醫學部教授	醫學博士	今裕

醫學部長　醫學博士醫學士　中村豐
理學部教授　理學博士農學士　坂村徹
醫學部教授　醫學博士醫學士　大野精七
工學部長　工學士　阿久津國造
理學部教授　理學士　杉野目晴貞

事務官

法學士　根本通美
岡村信雄

學生主事

（兼）農學部教授　農學士　尾崎卓郎
（兼）工學部教授　文學士　松久義平
（兼）水產專門部教授　農學博士農學士　時任一彥
（兼）豫科教授　工學士　山田紹之助
農學士　時田郁
理學士　岩瀨喜作

（兼）豫科教授　文學士　藤原正
（兼）土木專門部教授　バチェラー・オヴ・サーエンス（イリノイ州立大學）　服部幸一
（兼）豫科教授　文學士　服部晶吉
（兼）醫學部教授　醫學博士醫學士　木下良順
（兼）理學部教授　理學博士理學士　鈴木醇

附屬圖書館長

農學部教授　法學博士農學士　高岡熊雄

司書官

技師

衛生委員

醫學部教授　醫學博士醫學士　有馬英二
農學部教授　農學博士獸醫學士　葛西勝彌
醫學部教授　醫學博士醫學士　中村豐

敷地委員

醫學部	教授	醫學博士醫學士	井上善十郎
農學部	教授	林學博士林學士	新島善直
農學部	教授	農學博士農學士	星野勇三
醫學部	教授	醫學博士	今裕
工學部	教授	工學博士工學士	吉町太郎一
理學部	教授	農學博士理學博士 農學博士	田所哲太郎

瓦斯委員

工學部	教授	工學士	堀義路
工學部	教授	工學士	山田紹之助
理學部	教授	理學士	杉野目晴貞
工學部	教授	工學博士工學士	倉塚良夫
工學部	教授	工學士	三浦勝
工學部	教授	工學士	大賀惠二

給水及煖房委員

電氣委員

理學部	教授	理學士	杉野目晴貞
工學部	教授	工學博士工學士	清水義一
理學部	教授	理學博士理學士	池田芳郎

名譽教授

理學博士	農學士	宮部金吾
農學博士	農學士	南鷹次郎
農學博士	農學士	橋本左五郎
理學博士		八田三郎
獸醫學博士	獸醫學士	小倉卿太郎
ドクトル・オヴ・フイロソフイー（ジョンス・ホプキンス大學）		
ドクトル・オヴ・ロース（ウエスレイアン大學）		
農學博士	農學士	男爵佐藤昌介

庶務課

課長	事務官　法學士　根本通美

書記　龜山槇次
庄子榮三郎
谷本友市

學生課
課長　學生主事　農學士　尾崎卓郎
學生主事　文學士　松久義平
學生主事補　水産學得業士　宮尾侃
經濟學士　曾我孝之

會計課
課長　書記　渡部慶太郎
書記　藤田鐵四郎
吉田直衛

營繕課
課長　紺野正
書記　小松繁
技手　松島武
技師　萩原惇正
戸石英輝
（兼）豫科助教授　三宅保太郎
太田延雄
小原庄六
（兼）豫科助教授　岡田鴻記
佐々木浩志

附屬圖書館
館長　農學部教授　法學博士　農學博士　農學士　高岡熊雄

司書官	柴田定吉
書記	鷲尾幸一郎
	明石節孝
	土屋堆
司書	安部啓作
	三城長二
	三上孝正
	（兼）書記　明石節孝
	（兼）書記　土屋堆
學醫	醫學士　宮澤孝
配屬將校	陸軍步兵大佐　人見順士

○農學部職員

（同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ掲ク）

學部長	教授　農學博士農學士　須田金之助

農學教室

教授	
農藝物理學講座擔任	（氣象學、農業器械學、土地改良學）　農學博士農學士　時任一彦
動物學、昆蟲學、養蠶學第三講座擔任	（栽桑學、養蠶學）　農學博士農學士　須田金之助
園藝學講座擔任	（園藝學汎論、蔬菜園藝學、果樹園藝學）　農學博士農學士　星野勇三
農學第三講座擔任	（育種學汎論、育種學特論）　農學博士農學士　明峰正夫
助教授	

陸軍步兵中佐　近藤義男
陸軍騎兵大尉　遠矢良仲

造園學、花卉園藝學　（飼料作物學）　農學博士　前川德次郎
農學第四講座分擔　（工藝作物學）　農學士　前川十郎
農學第四講座分擔　（在外研究中）　農學士　御園生義一
工藝作物學、飼料作物學　（兼勤）　農學士　菊地武直夫
測量學　（兼勤）　工學部助教授　工學士　新郷高一
園藝學　（作物學汎論、食用作物學）　農學士　島善鄰
農學第一講座擔任　農學士　手島寅雄

授業囑託

農學大意　農學士　若林功
煙草專賣及製造論　農學士　笠島孝作

助手

（兼）書記　高田榮五郎
中村誠助
農學得業士　吉田啓次郎
農學士　澤田英吉

農業經濟學教室

教授

農政學講座擔任　（農政學）　農學博士　高岡熊雄

ドクトル・オヴ・フイロソフイー（ジョンス・ホプキンス大學）

經濟學、財政學講座擔任　（經濟學原論、財政學）　法學博士　小山小一
農學第二講座擔任　（農業經營學、農史）　農學博士　常松榮
植民學講座擔任　（植民學）　農學士　大村清之助

助教授

農林法律學講座擔任　（農業法律學、森林法律學）　法學士　小林巳智次
商法、民法　（在外研究中）　法學士　土屋四郎
經濟學、財政學　農學士　松田武雄

哲學概論			（兼）
農政學、農業經營學			（兼）
憲法			（兼）
民法、商法			（兼）
助手			

農業生物學教室

教授			
動物學、昆蟲學第二講座擔任	（昆蟲學、應用昆蟲學分類學）	理學博士	松村松年
植物學第三講座擔任	（植物生理病學、菌學）	農學博士	伊藤誠哉
植物學第二講座兼擔	（植物生理學）（兼勤）理學部教授	農學博士	坂村徹
應用動物學、應用鳥學	（兼勤）理學部教授	農學博士	小熊捍
豫科教授		文學士	藤原正
事務官		農學士	渡邊侃
豫科教授		法學士	根本通美
助手		法學士	佐藤昌彦
		農學士	南鐵藏
		農學士	高倉新一郎
		農學士	荒又操

動物學、昆蟲學、養蠶學第一講座擔任	（動物生理學、動物發生學）	農學博士	犬飼哲男
植物學第一講座擔任	（植物寄生病學）	農學博士	栃内吉彦
助教授			
樹病學、森林植物學		林學士	龜井專次
植物學、植物病理學		農學士	福士貞吉
昆蟲學		農學博士	内田登一
動物細胞組織學、浮游生物學		農學博士	林禎二郎
講師			
有用植物分類學、森林植物學		農學士	館脇操
助手			
		園藝學得業士	今井三子
		農學士	須藤勇
		農學士	島倉亨次郎
		農學士	河野廣道
		農學士	永井政次

農藝化學教室

教　授

應用菌學講座擔任	（應用菌學、農業微生物學）	農學博士　田川　隆
農藝化學第一講座分擔	（土壤學、肥料學）（兼）樺太廳中央試驗所技師	農學博士　半澤　洵
農藝化學第三講座兼擔	（生物化學）（兼勤）	農學博士　三宅康次
農產製造學講座擔任	（農產製造學）	理學部　教授　農學博士　理學博士　田所哲太郎
農藝化學第二講座擔任	（家畜飼養學、食品化學）	農學博士　逸見文雄

助教授

製造化學機械學	（兼）	農學博士　高橋榮治
化學特別講義	（在外研究中）（兼）	工學士　烏山嶺男
土壤地質學		水產專門部教授　農學博士　大島幸吉
分析化學		農學博士　理學士　中尾清藏
物理化學	（兼）	農學士　伊藤光治

豫科教授　理學士　芳村五左工門

無機製造化學	（兼勤）	工學部　助教授　工學士　多和田　寬
農藝化學第一講座分擔	（土壤學、肥料學）	農學士　田町以信男
高等數學		農學士　中村幸彥
無機化學	（兼）	農學士　尾崎卓郎

講　師

定量分析實驗		農學士　若狹清治

授業囑託

有機化學		理學部　教授　理學士　杉野日晴貞
膠質化學		理學部　教授　理學博士理學士　富永齊

助　手

		農學士　白濱潔
		農學士　安倍儀
		農學士　田村芳祐
		農學士　石塚喜明

林學教室

教授

林學第二講座擔任	（造林學、森林保護學）	林學博士林學士　新島善直
林政學及森林管理學講座擔任	（林政學、森林管理學）	林學博士林學士　宍戸乙熊
林學第四講座擔任	（測量學、理水及砂防工學）	林學士　吉川元民
森林工學講座擔任	（森林工學、森林工學特別講義、高等數學及力學）	林學博士林學士　影山純介
林學第三講座分擔	（森林利用學特別講義）	
林學第一講座擔任	（森林經理學、森林價算法及森林較利學）	林學博士林學士　中島廣吉

助教授

造林學		林學博士林學士　佐藤義夫
森林保護學		林學士　木下榮次郎
林學第三講座分擔	（森林利用學）	林學博士林學士　大澤正之
林產製造學		林學士　福山伍郎
森林美學、森林測量學、森林數學、森林法律學		林學士　今田敬一

講師		法學士　谷田忠治
民刑事訴訟法		
助手	（兼勤）演習林事務所	助手　林學得業士　谷本勇造
		林學士　田添元
		林學得業士　赤司格次
		（休職）林學士　川島三二

畜產學教室

教授

畜產學第二講座擔任	（畜產學原論、馬學）	農學博士農學士　高松正信
皮革製造學講座擔任	（皮革製造學、畜產學）ドクトル・オヴ・サイエンス（シラキウス大學）	
家畜衛生學講座擔任	（家畜衛生學）	農學博士農學士　里正義
藥物學	（兼勤）醫學部教授	農學博士獸醫學士　葛西勝彌
		醫學博士醫學士　三輪誠

畜産學第三講座擔任（牛　學）　農學博士農學士　井口賢三
　パチエラー・オヴ・サンエンス・イン・アグリカルチュア（カンサス州立農科大學）
　マスター・オヴ・サイエンス・イン・デーリング・ケミストリー・エンド・バクテ
　リオロジー（カンサス州立農科大學）
畜産學第一講座擔任（畜　産　製　造　學）　農學博士　宮脇富
比較病理學講座擔任（比　較　病　理　學）　獸醫學博士農學士　市川厚一
獸醫學第二講座分擔（外　科　學）
獸醫學第一講座擔任（內　科　學）
獸醫學第二講座分擔（外　科　學）　獸醫學博士農學士　小華和忠士

助教授

産　科　學（在外研究中）　獸醫學博士農學士　黒澤亮助
豚學、畜産學講師　農學博士農學士　澤山智
比較解剖學及同實驗授業囑託　農學士　高畑倉彦
蜜蜂學　農學博士農學士　徳田義信
裝蹄實習　尾崎清一

乘馬實習　醫學部講師　醫學士　鹽野谷清登
家畜生理學　獸醫學博士　服部光平
眼科學、蹄學、外科學　獸醫學博士獸醫學士　小倉卿太郎
牧場實習助手　山内義人

農學士　神田三八郎
獸醫學得業士　館澤圓之助
農學士　松本久喜
農學士　蒔田徳義
農學士　大久保薫

佛教師　ドクトル・オヴ・フイロソフイー（グラツツ大學）　ゲオルグ、グラツセル

皮革製造學及同實驗

事務室

書記　孫

農學實科及林學實科

農學實科主任　教授　農學博士農學士　星野勇三
林學實科主任　教授　林學博士林學士　宍戸乙熊
講師
經濟學、財政學　農學士　早川三代治
森林經理學　林學士　北村義重
授業囑託
化學實驗　水產專門部　助教授　水產學得業士　佐々木大衛
獸醫學　水產學得業士　高田幸二
測量學　工學部　助教授　農學士工學士　權平昌司

小山内巖
神田政之丞
中島忠述

農學特別講義
應用動物學　ドクトル・オヴ・フイロソフイー（アイオワ大學）
法學通論　マスター・オヴ・サイエンス（カリフオルニア大學）
應用菌學實驗　バチエラー・オヴ・アーツ（スタンフオード大學）

附屬植物園

園長　豫科教授　法學博士　和田禎純

教授　農學博士農學士　伊藤誠哉
講師　農學士　館脇操
助手兼書記　石田文三郎

附屬農場

場長　教授　農學博士農學士　星野勇三
第八農場主任　教授　農學博士農學士　中島九郎

農學士　川瀨堉次郎
農學士　齋藤三郎

第二、第三農場主任	教授	農學博士農學士　井口賢三
第四農場主任	教授	農學士　上原幟三郎
第一、第五、第六農場主任	助教授	農學士　前川十郎
	助教授	農學士　御園生義一
第一農場勤務	助教授	農學士　島善鄰
第一農場勤務	助教授	農學士　三田村健太郎
第一農場勤務	助手	竹内友助
第一農場勤務	助手	農學得業士　松本友
第一農場勤務	助手	農學得業士　笹部義一
第八農場勤務	助手	農學士　月足憲正
第一農場勤務	助手	三浦竹次郎
第一農場勤務	助手	農學士　林文平
第一農場勤務	助手	農學士　山本健吾
第一農場勤務	助手	羽根眞平
第八農場勤務	助手	藤田喜代作

農場事務所勤務	書記	高田榮五郎
第一農場勤務	書記	石崎正祐

附屬演習林

林長	教授	林學博士林學士　新島善直
	助教授	林學博士林學士　佐藤義夫
	助教授	林學士　木下榮次郎
	助教授	林學博士林學士　大澤正之
天鹽第二演習林勤務兼天鹽第一演習林	助教授	林學士　齋藤良秀
演習林事務所勤務	助手	林學得業士　谷本勇造
雨龍演習林勤務	助手	林學得業士　宇野徹治
天鹽第一演習林勤務	助手	林學得業士　小野岡毅
朝鮮演習林勤務	助手	林學得業士　渡部義郎
和歌山演習林勤務	助手	林學得業士　佐藤嘉三郎
演習林事務所勤務	助手	林學得業士　針谷都久造

朝鮮演習林勤務	助手	林學得業士	榊原茂末
演習林事務所勤務	助手	林學得業士	鈴木幸太郎
苫小牧演習林勤務	助手	林學士	伊藤茂治
樺太演習林勤務	助手	林學得業士	佐藤逸郎
臺灣演習林勤務	助手	林學得業士	笹尾修道
演習林事務所勤務	助手	林學得業士	城生銃血
樺太演習林勤務	書記		小畑善三
天鹽第一演習林勤務	書記		松川洋三
天鹽第二演習林勤務	書記		菊地寛治
雨龍演習林勤務	書記		井上良之助
臺灣演習林勤務	書記		山本光市

博物醫館

主任　教授　農學博士農學士　犬飼哲男

家畜病院

主任　教授　獸醫學博士農學士　小華和忠士

○醫學部職員　（同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ掲ク）

學部長　教授　醫學博士醫學士　中村豊

基礎醫學

解剖學教室

教授　醫學士　山崎春雄

解剖學第二講座擔任　解剖學實習（系統解剖學、組織學實習）

解剖學第三講座分擔　（組織學、胎生學）

解剖學第二講座擔任（系統解剖學、解剖學實習）
解剖學第三講座分擔（組織學、組織學實習）
局所解剖學）

助教授　醫學博士醫學士　兒玉作左衛門

講師　農學士　岡田正夫

醫學博士慈惠醫學士　橫川貞雄

助手　醫學士　緬島正義

醫學士　小野昌信

東北醫學士　鎌田巖

醫學士　伊藤昌一

生理學教室

教授　生理學第一講座擔任（生理學、生理學實習）　醫學博士醫學士　宮崎彪之助

生理學第二講座擔任（生理學、生理學實習）

助教授　醫學博士醫學士　朴澤進

（在外研究中）

講師　醫學博士醫學士　蓑島高

助手　醫學士　齋藤省三

醫學士　服部光平

醫化學教室

教授　醫學士　清野信省

醫學士　鈴木一郎

醫化學講座擔任（醫化學、醫化學實習）

助教授　醫學士　太黒薫

醫學士　鮎川武一郎

助手　醫學士　根本六郎
助手　醫學士　川島淳

病理學教室

教授　病理學第一講座擔任（病理學總論　病理學各論　病理組織學實習）　醫學博士　今裕
病理學第二講座擔任（病理學總論　病理學各論　病理組織學實習）　醫學博士　木下良順
助教授　醫學士　安保壽
助手　醫學士　武田勝男
助手　醫學士　須賀井正謙
助手　醫學士　青木徹
助手　醫學士　伊東平格

細菌學教室

教授　醫學士　佐藤次郎
細菌學講座擔任（細菌學、細菌學實習）　醫學博士　中村豐
助教授　醫學博士　梅田芳次郎
助手　醫學士　川又選太郎
助手　醫學士　山口夷甫

藥理學教室

教授　藥理學講座擔任（藥理學、處方學實習）　醫學博士　三輪誠
講師　醫學博士　

助手　醫學士　井田敏雄

法醫學教室

教授　醫學博士醫學士　山上熊郎（法醫學、法醫學實習）

助教授　醫學博士醫學士　久保忠夫

助手　醫學士　黒澤俊祐

醫學士　田村吉之助

衛生學教室

教授　醫學博士醫學士　井上善十郎

衛生學講座擔任（衛生學、衛生學實習）

助教授　醫學博士醫學士　木村正一

助手　醫學士　塚田治作

醫學士　青木市太郎

臨床醫學

内科學教室

教授　内科學第一講座擔任（内科學各論、内科臨床講義、内科外來臨床講義、診斷學實習）　醫學博士醫學士　有馬英二

内科學第二講座擔任（内科學各論、内科臨床講義、内科外來臨床講義、診斷學實習）

内科學第三講座分擔　醫學博士醫學士　中川論

助教授　醫學博士醫學士　小田俊郎
內科學第三講座分擔（內科學各論）
講師　醫學博士醫學士　瀧本庄藏
助手　醫學博士醫學士　小野純一
醫學博士醫學士　三神壽
醫學士　木村亮藏
醫學士　山田豐治
醫學士　宮澤孝
醫學士　小林辰雄
醫學士　高杉年雄
醫學士　八代雄三
醫學士　倉次貞吉

外科學教室

教授　外科學第二講座擔任　醫學博士醫學士　柳壯一
外科學第三講座分擔（外科學總論、外科學各論、外科臨床講義、外科外來臨床講義、繃帶學及實習、外科手術實習）
外科學第一講座擔任（外科學總論、外科學各論、外科臨床講義、外科外來臨床講義、繃帶學及實習、外科手術實習）　醫學博士醫學士　西川義英
助教授　醫學士　橋本昌造
醫學士　澤田平十郎
講師　日本齒科醫學士　野村愛介
助手　岡山醫學士　篠原一幸
醫學博士醫學士　三宅演

産婦人科學教室

教授	醫學士	玉眞俊雄
産科婦人科學講座擔任（産科學、婦人科學、産婦人科外來臨床講義、産婦人科臨床講義）	醫學博士醫學士	大野精七
助教授	醫學士	伊藤一平
助教授	醫學士	松澤靖介
助手	醫學士	增村隆也
助手	醫學士	三上二郎
助手	醫學士	長内丑右衞門
助手	醫學士	大西友市
助手	醫學士	直江六三郎
助手	醫學士	廣田戸七郎

眼科學教室

教授	醫學士	小川玄一
眼科學講座擔任（眼科學、眼科臨床講義、眼科外來臨床講義、檢眼鏡實習）	醫學博士醫學士	齋藤憲造
助教授	醫學士	磯部二郎
助手	醫學士	越智貞見
助手	醫學士	田村茂美
助手	醫學士	德永守成
助手	醫學士	後藤英男
助手	醫學士	五十嵐武保

小兒科學教室

耳鼻咽喉科學教室

教　授　永井一夫　醫學博士醫學士
小兒科學講座擔任（小兒科學、小兒科臨床講義、小兒科外來臨床講義）
講　師　辻茂三　東京醫學士
助　手　松岡海平　醫學士
　　森谷潤　醫學士
　　野坂佑三　醫學士

教　授　香宗我部壽　醫學博士醫學士
耳鼻咽喉科學講座擔任（耳鼻咽喉科、檢査法實習、耳鼻咽喉科臨床講義、耳鼻咽喉科外來臨床講義）
助教授　猿渡二郎　醫學士
助　手

皮膚泌尿科學教室

教　授　山本修吾　醫學士
皮膚泌尿科學講座擔任（皮膚科泌尿科學、皮膚科泌尿科臨床講義、皮膚科泌尿科外來臨床講義）
助教授　町田三郎　醫學士
　　（在外研究中）
助　手　山中善五郎　慈惠醫學士

精神病學教室

教　授　志賀亮　醫學博士醫學士
精神病學講座擔任（精神病學、精神病學臨床講義）
助教授　高橋信吉　醫學博士醫學士
助　手　波戸定吉　醫學士
　　窪田歷三郎　慈惠醫學士
　　稻本三郎　醫學士

教授　醫學博士　內村祐之
精神病學講座擔任（精神病學、精神病學臨床講義、精神病外來臨床講義）
助教授　醫學士　石橋俊實

助手　醫學士　石橋猛雄
助手　醫學士　大山恭次郎

事務室

事務官　岡村信雄
書記　田代正祇
書記　丹田榮之助
書記　齋藤秀四郎

附屬醫院

醫院長　教授　醫學博士醫學士　大野精七
事務官　岡村信雄
藥局長　助教授　藥學士　酒井隆吉
書記　齋藤潔
書記　藤田梧樓
書記　葛原綾一
書記　糸田六三郎
書記　菅野祥四郎
藥劑手　辻野喜一

看護長

長永兒信
相馬喜一郎
古川餘三
神谷虎一
眞部久
鈴木政雄
加藤長太郎
長谷川のぶゑ
杉井セイ
佐藤アエ
鹿倉トミ
櫻田キヨホ
畑中きん
鈴木ゲン

産婆養成所主任　教授　醫學博士醫學士　原田テツ
看護法講習科教務主任　助教授　醫學士　渡邊マツノ
病的材料檢查科主任　教授　醫學博士醫學士　大野精七
　　醫學士　橋本昌造
　　教授　醫學博士醫學士　中村豐

○工學部職員（同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ揭ク）

鐵道工學研究室

學部長　教授　工學士　阿久津國造

教授
鐵道工學第一講座擔任（運輸、停車場論、保安裝置、市街鐵道）　工學士　古藤猛哉
鐵道工學第二講座擔任（線路建設及保存、鐵道力學、鐵道政策）　工學博士工學士　小野諒兒

助教授

鐵道工學

助手　工學士　眞井耕象

水工學研究室

教授　工學博士工學士　倉塚良夫

水工學第一講座擔任　（港灣）衛生工學（講座外）

水工學第二講座擔任　（河川水力）　工學士　井口鹿象

助教授　（在外研究中）

水工學　工學士　大坪喜久太郎

水工學　工學士　林猛雄

助手　農學士　權平昌司

構造工學研究室

教授　工學博士工學士　吉町太郎一

橋梁學講座擔任　（橋梁理論製作架設）

混凝土工學講座擔任　（混凝土、鐵筋混凝土）　工學博士工學士　小川敬次郎

應用力學第二講座擔任　（構造力學）　工學博士工學士　鷹部屋福平

助教授

構造工學　工學士　新鄉高一

構造工學　工學士　酒井忠明

助手　工學得業士　岡本增成

工學得業士　青柳喜平

工學得業士　並木久二

工學得業士　立田直次郎

工學得業士　澤田詮亮

採鑛學研究室

教　授　工學士　松坂秀雄
鑛山學第一講座擔任（試錐、繫井、掘鑿、開坑、金屬石炭採掘、鑛山計畫）
鑛山學第二講座擔任（支柱、運搬、排水、通氣、保安）
助教授　工學士　三浦勝
鑛山工學　工學士　佐山總平
鑛山工學　工學士　熊澤良雄
助手　工學士　波止薫
（兼勤）選鑛學研究室　助手　豐澤義隆
廣島倉之助
島田龍治

選鑛學研究室

教　授　工學士　加藤清
選鑛學講座擔任（選鑛及團鑛、選炭及煉炭）
講　師　工學士　高桑健
鑛山工學
助手　工學士　伊東胤男
島田龍治

鑛山機械學研究室

教　授　工學士　山田紹之助
鑛山機械學講座擔任（鑛山機械學）
助教授　工學士　阿部與
鑛山機械工學

應用地質學研究室

教授		
應用地質學講座擔任	（金屬鑛床學、非金屬鑛床學及土木地質學）	理學士　福富忠男
助教授		工學士　道家欽
鑛山地質學		黒澤翠
助手		沼田幸一郎

熱機關研究室

教授		
原動機學第二講座擔任	（内燃機及動力瓦斯發生爐）	工學士　大賀悳二
原動機學第一講座擔任	（熱力學及蒸汽タービン）	
助教授		

熱機關		
熱機關		工學士　吉原英夫
助手		工學士　黒岩保

水力機研究室

教授		湊英季
應用力學第三講座擔任	（水力學及水力機）	尾形安太郎
助教授		工學士　佐野新三郎
應用力學		工學士　下阪實
助手		佐々木亮高

機械材料及材料力學研究室

教　授　阿久津國造　工學士　（應用力學、機構學、機械力學）
應用力學第一講座擔任
機械工作學講座擔任　久次米三夫　工學士　（機械材料、機械工作法及工作機械）
助教授　久野陸夫　工學士
機械材料及機械工作法
應用力學　竹多勇　工學士
助手　吉野藏之助

燃料學研究室

教　授　大賀悳二　工學士
燃料學講座分擔　（汽罐及燃料）
助教授　多和田寬　工學士
燃料學講座分擔　武田直秀　工學士
（在外研究中）

助手　相馬吉雄
田中嘉助

電氣機械研究室

教　授　清水義一　工學博士工學士
電氣機械學第一講座擔任　（電氣機械器具理論第一）
電氣機械學第二講座擔任　宗宮知行　工學士　（電氣機械器具理論第二）
助教授　俣野麻太郎　工學士
電氣工學
助手　笹田助三郎　工學士
辻　一郎　工學士
横尾秋三　工學士

電力及電力應用研究室

教授	電力及電力應用學第一講座擔任	工學士　小串孝治　（電力送達分配）
	電力及電力應用學第二講座擔任	ドクトル・インジエニヤー（テヒニツシユ・ホツホシユーレー、アーヘン）工學博士工學士　烏山四男　（電氣牽引、電灯及照明、電力應用）竝電氣材料（講座外）
助教授		工學士　山上孝
電氣工學		工學士　篠原卯吉
助手		丸山喜一郎
		市村豊
		谷口貞三
		工學士　澤茂夫

應用電氣磁氣學研究室

教授	電氣磁氣學講座擔任	（電氣磁氣學及交流理論）工學士　淺見義弘
助教授		工學士　片山辰雄
電氣工學		齋藤宮二
助手		工學士　小山愼三郎

理學第一研究室

教授		
理學第一講座兼擔		（物理學、數學及力學）理學部　教授　理學博士理學士　池田芳郎
助教授		
力學、物理學		工學士　兒島茂
講師		
物理學		理學博士理學士　伊藤直

助手　長岡格

理學第二研究室

教授　工學士　森元吉

理學第二講座擔任（物理化學及工業化學）

助教授　工學士　堀義路

工業化學

助手　工學士　多和田寛

（兼勤）燃料學研究室　助手　江柄馴二

講師　早稲田大學工學士　金城紀典

工業經濟、財政及金融　農學士　早川三代治

講義囑託

建築構造	工學士	福岡五一
電氣工學實驗	工學士	大塚德雄
細菌學	醫學部教授 醫學博士醫學士	中村豐
特別講義	工學博士工學士	岡新六
電氣機械設計法特論	工學士	楠本宗次郎
火藥學及實驗	工學士	西松唯一
地震學	理學博士理學士	中村左衛門太郎
岩石學、鑛物學	助教授 理學士	中尾清藏
電氣法規		小林薰
電信電話、無線電信電話	工學士	長島正隆
地質學及同實習	理學部教授 理學士	上床國夫
金屬工學	工學博士工學士	濱住松二郎
土木行政	法學士	大垣勝太郎
工場管理法	工學士	羽島金三郎

鐵道車輛及機關車大意
紡織機械
製紙機械
舶用機關

事務室

書記

工學士　遠藤左近
工學士　太田七郎
高田良作
工學士　山内不二雄

兼子清則
安達敬造
村田豐雄
（兼）助手　青柳喜平

○理學部職員（同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ掲ク）

學部長　農學博士　理學博士　農學士　田所哲太郎

數學科

教授　數學第三講座擔任（解析學）　理學士　吉田洋一
助教授　數學第二講座擔任（幾何學）　理學士　河口商次
解析學講師　理學士　功力金次郎（ドクトル・エス・シアンス・マテマチク（ソルボン大學））
幾何學講師　理學士　細川藤右工門
微分方程式　理學士　福原滿洲雄

豫科教授　理學士　鈴木庄治郎

一般數學

助手　理學士　能代清

物理學科

教授

物理學第二講座擔任（理論物理學）　理學博士理學士　池田芳郎

物理學第四講座擔任（實驗物理學）　理學博士理學士　中村儀三郎

物理學第一講座擔任（應用物理學）　理學博士理學士　茅誠司

理論物理學（兼）東北帝國大學教授　理學博士理學士　山田光雄

助教授

物理學第三講座擔任（實驗物理學）　理學博士理學士　中谷宇吉郎

講師

理學士　本部均

理學士　近藤基吉

一般物理學

應用電氣

自然科學

物理實驗法

助手　理學博士理學士　伊藤直

工學士　森元吉

理學士　阿部良夫

理學士　四手井綱彥

工學士　大和田秋麿

工學士　米田勝彥

理學士　門馬貞三

理學士　山崎文男

工學士　荒又光夫

化學科

教授

化學第三講座擔任（生理化學）　農學博士　田所哲太郎

化學第一講座擔任（物理化學）　理學博士理學士　富永齊

化學第四講座擔任（有機化學）　理學士　杉野目晴貞
化學第二講座擔任（分析化學）　理學士　男爵　太秦康光

助教授　無機化學　理學士　柴田善一

講師　生物化學　農學士　吉村克二
製造化學　工學部教授　工學士　堀義路
物理化學實驗　豫科教授　理學士　坂元義男

助手　理學士　岡本剛
理學士　虎石成美
理學士　佐々木彌三郎
理學士　上野清
佐々木萬夫
理學士　齋藤孝次郎

地質學鑛物學科

教授　理學士　三宅泰雄

地質學鑛物學第一講座擔任（地質學及岩石學）　理學博士理學士　鈴木醇
地質學鑛物學第二講座擔任（地史學及古生物學）　理學博士理學士　長尾巧
地質學鑛物學第三講座擔任（鑛物學及應用地質學）

助教授　鑛物學　理學士　上床國夫

講師　鑛物學　理學士　原田準平

鑛物實驗　理學士　根本忠寬

助手　中家郁太郎
理學士　大石三郎
理學士　佐々保雄

植物學科

教授

植物學第一講座擔任（植物生理學）　理學博士農學士　坂村徹
植物學第二講座擔任（植物分類學）　理學士　山田幸男

助教授

植物形態學講師　理學士　松浦一
一般植物學　農學士　須藤勇
助手　林學得業士　山口千之助
　　理學士　秋山茂雄
　　原秀雄
　　理學士　猪野俊平
　　理學士　渡邊武男

動物學科

教授

動物學第二講座擔任（動物形態學）　農學博士農學士　小熊捍
動物發生及生理學（兼勤）　農學部教授　農學博士農學士　犬飼哲男

講師

動物解剖學　理學士　市川純彥

助手

山口英二
農學士　牧野佐二郎
農學士　羽田良禾
理學士　青木廉

事務室

書記

附屬臨海實驗所

所長　教授　農學博士農學士　小熊捍

○豫科職員

（同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ掲ク）

主事　教授　理學士　青葉萬六

教授

物理　理學士　青葉萬六

數學　理學士　三田村孝吉

英語　ドクトル・オヴ・フィロソフィー（ボストン大學）　高杉榮次郎

數學　理學士　鈴木庄治郎

英語　バチエラー・オヴ・アーツ（カンサス大學）　木村勇

修身　文學士　藤原正

物理　理學士　野附雄次郎

獨語　文學士　青山延敏

圖畫　中根孝治

英語　農學士　小谷武治

英語、經濟　ドクトル・オヴ・フィロソフィー（アイオワ大學）

數學　マスター・オヴ・サイエンス（カリフオルニア大學）

獨語　バチエラー・オヴ・アーツ（スタンフオード大學）

數學　法學博士　和田禎純

植物　理學士　岩瀨喜作

國語、漢文　文學士　羽鳥又次郎

數學　理學士　山鳥藤次郎

動物　農學士　理學士　鈴木限三

文學士　樟本成美

理學士　朽木十吉

理學士　新庄巍

英語　都築東作
英語　文學士　齋藤護國
英語（在外研究中）　文學士　廣橋浩
獨語　文學士　東新
鑛物、地質　理學士　田上政敏
化學　理學士　佐藤久次
心理、修身　文學士　清水榮長
圖畫、數學　大山於菟治郎
國語　文學士　宇野親美
化學　理學士　芳村五左工門
數學　理學士　河端梁雄
國語、漢文　文學士　服部晶吉
數學　理學士　高橋丑治
物理、數學　理學士　小林種樹
法制　法學士　佐藤昌彦

化學　理學士　坂元義男
獨語　文學士　横岡雅雄
物理　理學士　今堀克巳
修身　文學士　松久義平

助教授（兼）學生主事

物理　菊地知
化學　小松三郎
物理　千田朝愼
化學　村上玉樹
圖畫　三宅保太郎
地質鑛物　岡田鴻記

講師

圖畫　土佐林義雄
獨語　吉崎十七
英語　萩原清次郎

獨語　中島篤
獨語　文學士　結城謙治
體操講師　陸軍歩兵大尉　中村虎太郎
陸軍歩兵中尉　大塚貞治郎
體操教練囑託
陸軍歩兵特務曹長　小林藏太
陸軍歩兵特務曹長　岩井北子
陸軍歩兵特務曹長　佐山八百治

傭教師
英語　マスター・オヴ・アーツ（ハーヴアフオード大學）　ハロルド・エム・レーン
マスター・オヴ・アーツ（ペン大學）　アーノルド・グブラー
獨語　ドクトル・デル・フイロソフイー（チューリツヒ大學）　カール・エル・エツター
英語　マスター・オヴ・アーツ（サウザーン・カリフオルニア大學）　マイルス・エル・ビール
マスター・オヴ・アーツ（アビリン神科大學）
英語　マスター・オヴ・アーツ（ハーヴアフオード大學）　ヘルマン・ヘツカー
マスター・オヴ・アーツ（ウイルミントン大學）
獨語

附屬土木專門部職員（同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ掲ク）

主事　及川兵吾
教授　成田藤太郎

○職員　土木專門部職員

教授　工學士　西田辰三郎　橋梁、力學、製圖設計
工學士　西田辰三郎　石工、鐵筋混凝土、建築材料、解析幾何
工學士　佐伯利吉　鐵道、測量術、實驗、製圖設計
バチエラー・オヴ・サイエンス（イリノイ州立大學）　服部幸一　水利工學、道路、畫法
工學得業士　林助一　衞生工學、電氣工學、器械發動學、三角術
助教授　工學士　小林幸治　測量術、實習、實驗
工學得業士　武內一夫　授業囑託

造家學　工學士　福岡五一

附屬水產專門部職員

（同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ掲ク）

主事　教授　農學士　佐々茂雄

教授　淡水養殖論、水產養殖論、遺傳學　理學博士　農學士　理學士　藤田經信

水產食用品製造論、水產製造論　農學士　佐々茂雄

機械學、特殊機械學、造船原論　工學士　鳥山嶺男

漁撈論　（兼）　樺太廳中央試驗所技師　水產學得業士　村山佐太郎

化學原論、有機及生物化學　（在外研究中）　農學博士　農學士　大島幸吉

航海術、運用術　海軍中佐　鎌倉義喜

水產經濟、水產法律、水產通論　農學士　今田清二

動物發生學、動物生理學、漁撈論、水產動物學、魚學　正田豐治

漁撈論　水產學得業士　藤非知之

水產植物學、浮游生物學　農學士　時田甸

水產食用品製造論、水產工業品製造論　水產學得業士　田中清三郎

助教授

化學原論、有機及生物化學　水產學得業士　佐々木衛

水產植物學、浮游生物學　水產學得業士　菅野利助

（兼）　書記　水產學得業士　梅野萬里

鹹水養殖論　水產學得業士　渡邊宗重

練習船々長

水產工業品製造論　水產學得業士　大垣光平

水產動物學、動物組織學　水產學得業士　越智通秋

漁撈論　水產學得業士　能島正一

講師

水產食用品製造論　水產學得業士　黄田武夫

化學原論、應用菌學、有機及生物化學、營養及食品化學　水產學得業士　若松三郎

農學士　武田志麻之助

漁撈論　水產學得業士　川崎毅一

水產工業品製造論　農學士　半澤虎太郎

授業囑託

罐詰機械　理學士　淺野彦太郎

海洋學、氣象學、湖沼學　醫學博士醫學士　小川信一

救急療法　書記　練習船事務長　水產學得業士　梅野萬里

野澤弘幸

○北海道帝國大學通則

（昭和五年三月改正）

第一章　學年休業

第一條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第二條　學年中定期休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

春期休業　四月一日ヨリ同七日ニ至ル

夏期休業　七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

冬期休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

日曜日及左ノ祭日祝日

天長節　四月二十九日

秋季皇靈祭　秋分日

神嘗祭　十月十七日

明治節　十一月三日

新嘗祭　十一月二十三日

北海道帝國大學記念日　二月六日
紀　元　節　二月十一日
春季皇靈祭　春分日

第三條　學年ヲ學期ニ分ツハ各學部規程ノ定ムル所ニ依ル

第二章　學　部

第一節　學　生

第一項　入學、在學、休學、退學、轉學、懲戒

第四條　入學期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス但シ學年開始前ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

入學願書ノ提出期限ハ各學部規程ノ定ムル所ニ依ル

第五條　學部ニ入學セシムル者ハ本學豫科修了者トシ豫科入學ノ際其ノ志望シタル學部ニ進入セシム但シ理學部ニ於テハ同學部規程ノ定ムルトコロニ依ル

前項ノ志望者ハ各學部ノ定ムル書式ニ依リ二月十五日迄ニ其ノ志望願書ヲ當該學部ニ提出スヘシ

第一項ノ志望者ヲ收容シ仍缺員アル學部ハ銓衡ノ上豫科入學ノ際他ノ學部ヲ志望シタル者ノ進入ヲ認ムルコトアルヘシ

第六條　前條ノ志望者ヲ收容シ仍缺員アルトキハ左ノ順位ニ依リ入學ヲ許可ス但シ志望者缺員ノ數ヲ超過シタルトキハ選拔試驗ヲ行フ

一、高等學校高等科理科及學習院高等科理科ヲ卒業シタル者
二、高等學校高等科文科及學習院高等科文科ヲ卒業シタル者
三、各學部ニ於テ施行スル檢定試驗ニ及第シタル者

第七條　學士ノ資格ヲ有スル者ハ前條ノ順位ニ依ラス銓衡ノ上入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第八條　左ニ揭クル者ハ缺員アル場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

一、他ノ官立ノ大學ノ學生ニシテ相當スル學部ニ轉學ヲ志願スル者
二、半途退學者ニシテ更ニ同一學部ニ入學ヲ志願スル者

第九條　入學志願者ハ各學部ニ於テ別ニ定ムル所ノ書式ニ依リ願出ツヘシ

第十條　學部ニ於ケル檢定試驗ヲ受ケントスル者ハ檢定料金拾圓ヲ前納スヘシ

第十一條　第六條第七條第八條ニ依リ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學料金拾圓ヲ納付スヘシ入學後出席セスシテ入學ヲ取消サレタル者ニハ之ヲ免ス

第十二條　既納ノ檢定料入學料ハ之ヲ還付セス

第十三條　疾病ニ依リ二箇月以上修學スルコト能ハサル者ハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附シテ學部長ノ許可ヲ得一年以內ノ休學ヲ爲スコトヲ得

第十四條　兵役ニ服スル者ハ其ノ現役又ハ召集期間休學屆出ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條　前二條ノ休學期間內ニ於テ其ノ事情止ミタルトキハ其ノ旨屆出テ學部長ノ許可ヲ得テ出席スルコトヲ得

第十六條　農學部、工學部及理學部ニ於テハ在學六年醫學部ニ於テハ在學八年ヲ超ユル者ハ退學シタルモノトス但シ休學又ハ停學期間ハ之ヲ算入セス

第十七條　前條ノ期間內ト雖成業ノ見込ナシト認メタルトキハ學部長ハ之ニ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第十八條　第八條ノ規定ニ依リ入學ヲ許可セラレタル者ニシテ既ニ一年以上其ノ學部ノ學科目ヲ學修シタル者ト同等以上ノ學力アリト認定セラレタル者ハ在學年數ノ計算ニ就テハ學部規程ノ定ムル所ニ依リ既ニ一年以上其ノ學部ニ在學シタル者ト看做スコトヲ得

前項ノ認定ヲ爲スニ當リ必要アルトキハ學部規程ノ定ムル所ニ依リ學部ニ於テ試驗ヲ行フ

第十九條　退學又ハ轉學セントスル者ハ事由ヲ具シ書面ヲ以テ其ノ旨學部長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第二十條　學生ニシテ其ノ本分ニ悖リタル行爲アルトキハ總長之ヲ懲戒ニ付ス前項ノ規定ハ專攻生、選科生及聽講生ニ之ヲ準用ス

懲戒ハ譴責、停學及放學ノ三種トス

第二項　試驗及學士稱號

第二十一條　學士試驗ハ學生ノ願出ニ依リ學部ニ於テ之ヲ行フ

第二十二條　試驗規程ハ各學部ニ於テ之ヲ定ム

第二十三條　第二十一條ノ試驗ニ合格シタル者ニハ學士試驗合格證書ヲ授與ス

第二十四條　前條ノ合格者ハ左ノ區分ニ從ヒ稱號ヲ用ウルコトヲ得

農學部　農學士又ハ林學士

醫學部　醫學士

工學部　工學士
理學部　理學士

第三項　授　業　料

第二十五條　授業料ハ一學年金百貳拾圓トス
第二十六條　授業料ハ左ノ三回ニ分チテ之ヲ徴收ス
第一回　四月　金四拾圓
第二回　九月　金四拾圓
第三回　一月　金四拾圓
第二十七條　休學中ノ授業料ハ之ヲ徴收セス
第二十八條　學生停學ヲ命セラレタルトキハ其ノ期間中ト雖授業料ヲ徴收ス
第二十九條　授業料ハ所定ノ期間内ニ納付スヘシ其ノ後ニ入學シタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スルモノトス
既納ノ授業料ハ之ヲ還付セス
第三十條　授業料ヲ所定ノ期間内ニ納付セサルトキハ催告シ仍納付ヲ怠ルトキハ學部長之ヲ除籍ス

第四項　服　裝

第三十一條　學生ハ別ニ定ムル所ノ制服制帽ヲ著用スヘシ

第二節　外國學生

第三十二條　外國人ニシテ第二章ノ規定ニ依ラスシテ學部ニ入學セントスル者アルトキハ明治三十四年文部省令第十五號ノ定ムル所ニ依リ定員外ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ
第三十三條　外國學生ニシテ當該學部所定ノ試驗ニ合格シタル者ニハ本人ノ願ニ由リ學力ヲ檢定シ大學豫科修了ト同等以上ト認メタルトキハ合格證書ヲ付與スルコトアルヘシ
第三十四條　外國學生ニハ本學學生ニ關スル規定ヲ準用ス

第三節　專攻生、選科生及聽講生

第一項　專　攻　生

第三十五條　本學學部ニ於テ特殊事項ニ就キ攻究セントスル者アルトキハ設備

ニ差支ナキ限リ專攻生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十六條　專攻生タルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ要ス

一、大學令ニ依ル大學及專門學校令ニ依ル學校ヲ卒業シタル者

二、當該學部長ニ於テ相當ノ學力アリト認メタル者

第三十七條　專攻生タラントスル者ハ入學願書ニ研究事項ヲ具シ履歷書ヲ添ヘ當該學部長ニ願出ツヘシ

第三十八條　專攻生ハ入學ヲ許可セラレタル日ヨリ十日以內ニ入學料金拾圓ヲ納付スヘシ

第三十九條　專攻生ノ授業料ハ一年金七拾五圓トシ在學第一年ニ於テハ入學ノ際ニ第二年以後ニ於テハ入學ノ月ニ相當スル月ノ末日迄ニ之ヲ納付スヘシ

第四十條　專攻生ハ研究ニ要スル費用ヲ負擔スルモノトス

第四十一條　專攻生ハ每年一回以上其ノ研究成績ヲ指導者ヲ經テ當該學部長ニ報告スヘシ

第四十二條　專攻生ニシテ相當ノ研究ヲ爲シタリト認ムヘキ者ニハ本人ノ願出ニ由リ當該學部長ハ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

第四十三條　專攻生退學セントスルトキハ學部長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十四條　專攻生授業料納付ノ義務ヲ履行セス又ハ研究ノ實ナシト認ムルトキハ學部長ハ之ヲ除籍ス

第四十五條　既納ノ入學料及授業料ハ之ヲ還付セス

第四十六條　選科生及聽講生ニ就テハ各學部ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第三章　大學院

第一節　大學院學生

第四十七條　本學ニ於ケル學士試驗合格者ニシテ大學院ニ入ラントスルトキハ研究事項ヲ具シ當該學部長ヲ經テ總長ニ願出ツヘシ總長ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可ス

第四十八條　前條ノ規定以外ノ者ニシテ大學院ニ入學ヲ志願スル者アルトキハ總長ハ當該學部教授會ノ議ヲ經其ノ學力ヲ檢定シテ之ヲ許可ス

前項ノ志願者ハ入學檢定料金貳拾圓ヲ前納スヘシ但シ既納ノ檢定料ハ之ヲ還付セス

第四十九條　大學院學生ノ在學期間ハ二年以上五年以内トス但シ兵役ニ服スル場合ハ其ノ期間ヲ算入セス

第五十條　大學院學生ノ指導者ハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ總長之ヲ定ム

第五十一條　大學院學生ハ本學所在地以外ニ居住シ又ハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス但シ願出ニ依リ評議會ニ於テ研究上必要ト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條　大學院學生ハ指導者ノ許可ヲ得各學部ニ於ケル教官ノ承認ヲ得テ其ノ講義又ハ實驗ニ出席スルコトヲ得

第五十三條　大學院學生ノ授業料ハ一年金七拾五圓トシ在學第一年ニ於テハ入學ノ際ニ第二年以後ニ於テハ入學ノ月ニ相當スル月ノ末日迄ニ之ヲ納付スヘシ

既納ノ授業料ハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セス

第五十四條　大學院學生ハ研究ニ要スル費用ヲ負擔スルモノトス

第五十五條　大學院學生ニシテ兵役ニ服スル者ハ服役期間授業料ヲ免除ス

第五十六條　特ニ奬勵ヲ加フヘキ事項ヲ研究スル者ニハ評議會ノ議ヲ經テ前條ノ授業料ヲ免除シ又ハ研究ニ要スル相當ノ費用ヲ給與スルコトアルヘシ

第五十七條　大學院學生ハ毎一年ノ終ニ於テ其ノ研究成績ヲ指導者ヲ經テ當該部長ニ報告スヘシ

第五十八條　大學院學生ニシテ授業料納付ノ義務ヲ履行セサルトキハ之ヲ除籍ス

第五十九條　大學院學生ニシテ其ノ本分ニ悖リ又ハ研究ノ實ナシト認ムヘキ者アルトキハ總長ハ之ニ退學ヲ命ス

第六十條　大學院ニ在リテ相當ノ研究ヲ爲シタリト認ムヘキ者ニハ總長ハ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

第二節　特選給費學生

第六十一條　大學院學生中學力優秀志操堅實ナル者ハ特選給費學生ト爲シ授業料ヲ免除シ且學費ヲ給與ス

第六十二條　特選給費學生タルニ適當ナル者アルトキハ當該學部教授會ノ議ヲ經テ學部長之ヲ推薦シ總長ハ評議會ノ議ヲ經テ之ヲ命ス

第六十三條　特選給費學生タル期間ハ一年トシ一人月額七拾五圓以内ノ學費ヲ給ス但シ必要アル場合ニ於テハ評議會ノ議ヲ經テ更ニ之ヲ繼續スルコトヲ得

第六十四條　特選給費學生ニシテ兵役ニ服シ又ハ其ノ資格ニ缺クル者アルトキハ當該學部長ノ報告ニ依リ總長ハ評議會ノ議ヲ經テ之ヲ免ス

第四章　奬學貸費學生

第六十五條　奬學貸費資金ハ指定ノ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第六十六條　奬學貸費金ハ成績可良品行方正ニシテ學資ノ支辨困難ナル學生ニ貸付ス

第六十七條　奬學貸費學生タラントスル者ハ毎年四月中其ノ事情ヲ具シ保證人連署ノ上學部長ヲ經テ總長ニ願出ツヘシ

第六十八條　貸費學生ハ學部長ノ推薦ニ依リ一年以内ヲ限リ總長之ヲ選定ス

第六十九條　貸費學生タルノ許可ヲ得タル者ハ所定ノ書式ニ依リ誓約證書ヲ差

出スヘシ

第七十條　奬學貸費ヲ受ケタル者ハ學士試驗合格後一年ヲ經過シタル月ヨリ其ノ貸費ヲ受ケタル月數ニ二倍スル期間内ニ之ヲ月賦返納スヘシ但シ兵役ニ服シ又ハ他ノ學校ニ入學セルトキハ證明書ヲ添附シ延納ヲ願出ツルコトヲ得

第七十一條　奬學貸費ヲ受ケタル者死亡シタル時ハ其ノ返納ヲ免除ス但シ死亡前ニ於テ返納スヘキ者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條　貸費學生休學シタルトキハ其ノ月ヨリ貸費ヲ罷ム

第七十三條　奬學貸費ヲ受クル者懲戒ヲ受ケタルトキハ其ノ月ヨリ貸費ヲ罷メ其ノ受ケタル貸費金全額ヲ即時返納セシム

第七十四條　奬學貸費ヲ受ケタル者退學スルトキハ其ノ受ケタル貸費金額ハ之ヲ即時返納セシム

附　則

本通則ハ昭和二年四月一日ヨリ施行ス

第二十五條及第二十六條ハ昭和四年度以降入學ノ學生ニ對シ之ヲ適用ス

○農學部規程

（昭和二年四月改正）

第一章　學期

第一條　學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期　四月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル

第二學期　十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第二章　學科課程

第二條　本學部ニ左ノ六學科ヲ置ク

農學科
農業經濟學科
農業生物學科
農藝化學科
林學科

畜產學科

第三條　畜產學科ニ第一部及第二部ヲ置ク

第四條　各學科ノ學科目每週授業時間數及各學期每週必修時間通算數左ノ如シ

農學科

學科目	第一學期	第二學期
高等數學	二	一
氣象學	一	三
土壤地質學	二	二
土壤學	二	二
肥料學	二	二
測量學	二	一
農業器械學	二	一
土地改良學	二	二
生物化學	三	三

植物形態學　二
有用植物分類學　二
植物生理學　二
動物細胞組織學　二
動物生理學　三
動物發生學　二
遺傳學　三
昆蟲學　二
育種學　二
育種學特論　一
作物學汎論　二
食用作物學　二
工藝作物學　二
飼料作物學　二
園藝學汎論　一

蔬菜園藝學　二
果樹園藝學　二
花卉園藝學　二
促成栽培學　一
造園學　一
森林美學　一
熱帶農學　一
栽桑學　二
養蠶學　一
蠶體病理學　二
製絲學　二
蠶種學　二
植物病理學通論　二
應用昆蟲學　二
應用菌學　一

農產製造學	三	三
家畜飼養學	三	三
畜產學	三	三
林學大意	|	二
經濟學原論	三	三
農業經營學	三	三
農業評價學	二	|
農業計算學	|	二
農政學	三	三
植民學	二	二
農業法律學	二	二
農學特別講義	不定	不定
農學演習	二回 不定	二回 不定
農業經營學演習	一回	一回
定量分析實驗	一回	一回

植物形態學實驗	|	一回
植物生理學實驗	一回	一回
動物生理學實驗	一回	一回
動物細胞組織學實驗	一回	一回
動物發生學實驗	一回	一回
昆蟲學實驗	一回	|
農學實驗	一回	二回
植物病理學 應用昆蟲學 實驗	一回	一回
應用菌學實驗	一回	一回
農學特別實驗	不定	不定
測量實習	一回	|
農業實習	一回 不定	一回 不定
農產製造實習	不定	不定
畜產實習	不定	不定

必修時間通算數　講義　百八時間以上
　　演習實驗及實習　十五回以上

農業經濟學科

學科目	第一學期	第二學期
經濟學原論	三	三
農政學	三	三
植民學	二	二
財政學	二	二
經濟史	二	二
農業經營學	三	三
農業評價學	二	二
農業計算學	三	三
農史	一	一
林政學	二	二

經濟學特別講義	不定	不定
經濟學農政學特別講義	不定	不定
植民學特別講義	一	一
農業經營學特別講義	不定	不定
法學通論	二	二
民法	六	六
商法	二	二
憲法	一	一
行政法	二	二
農業法律學	二	二
土壤學	二	二
肥料學	二	二
土地改良學	二	二
氣象學	一	三
農業器械學	二	一

育種學	二	二
作物學汎論	二	二
食用作物學	二	二
工藝作物學	二	二
園藝學汎論	二	二
養蠶學	二	—
製絲學	一	—
畜產學	三	三
農產製造學	三	三
熱帶農學	一	一
哲學概論	不定	—
經濟學演習	三回	三回
經濟學農政學演習	二回	二回
植民學演習	二回	二回
農業經營學農史演習	三回	三回

法學演習	二回	二回
農業法律學演習	一回	一回
農業實習	一回	一回
特別問題研究	不定	不定

必修時間通算數　講義　百時間以上
　　演習　實習及研究　十二回以上

農業生物學科

學科目	第一學期	第二學期
植物生理學	三	三
植物形態學	—	二
有用植物分類學	二	二
森林植物學	三	三
菌學	一	一
應用菌學	二	二

農業微生物學	一
植物寄生病學	三
植物生理病學	二
樹病學及木材腐蝕論	二
植物病理學特別講義	二
植物生理學特別講義	三
動物生理學	二
動物細胞組織學	二
動物發生學	二
應用動物學	二
森林動物學	三
浮游生物學	一
動物學特別講義	二
昆蟲學	二
昆蟲分類學	一

應用昆蟲學	二
森林昆蟲學	二
昆蟲學特別講義	一
生物化學	二
遺傳學	二
土壤學	二
肥料學	二
食品化學	二
作物學汎論	二
食用作物學	二
工藝作物學	二
園藝學汎論	二
果樹園藝學	二
蔬菜園藝學	二
花卉園藝學	二

育種學	二	一回	一回
育種學特論	一	一回	一回
森林保護學	二	一回	一回
養蠶學	二	一回	一回
蠶種學	三	一回	一回
蠶體病理學	三	一回	一回
蜜蜂學	三	一回	一回
畜產學原論	一	一回	一回
畜產學	一	一回	一回
家畜飼養學	二	一回	一回
寄生動物學	二	一回	一回
植物生理學實驗	一	一回	一回
植物形態學實驗	一	一回	一回
森林植物學實驗	二	一回	一回
菌學實驗	一	一回	一回
應用菌學實驗	一	一回	一回
植物病理學實驗	一	一回	一回
植物病理學特別實驗	一	一回	一回
植物生理學特別實驗	一	一回	一回
植物形態學分類學特別實驗	一	一回	一回
動物生理學實驗	一	一回	一回
動物細胞組織學實驗	一	一回	一回
應用動物學實驗	一	一回	一回
動物發生學實驗	一	一回	一回
浮游生物學實驗	一	一回	一回
動物學特別實驗	一	一回	一回
昆蟲學實驗	一	一回	一回
應用昆蟲學實驗	一	一回	一回
昆蟲學特別實驗	一	一回	一回
定量分析實驗	一	一回	一回

應用菌學實驗	一	一回	一回
植物病理學實驗	一	一回	一回
植物病理學特別實驗	一	一回	一回
植物生理學特別實驗	一	一回	一回
植物形態學分類學特別實驗	一	六回—九回	六回—九回
動物生理學實驗	一	五回	五回
動物細胞組織學實驗	一	一回	一回
應用動物學實驗	一	一回	一回
動物發生學實驗	一	一回	一回
浮游生物學實驗	一	一回	一回
動物學特別實驗	一	五回	五回
昆蟲學實驗	一	一回	一回
應用昆蟲學實驗	一	一回	一回
昆蟲學特別實驗	一	四回	四回
定量分析實驗	一	一回	一回

農學實驗　一回　一回
寄生動物學實驗　一回　一回

必修時間通算數　講義　八十時間以上
　　實驗　二十六回以上

農藝化學科

學科目	第一學期						第二學期					
無機化學	二						一	三	二	三	二	二
有機化學	一	一	三	二	二	二	一	三	二	三	二	二
有機合成化學	一						一					
生物化學							一					
生物化學研究法							一					
高等數學							一					
物理化學							一					
膠質化學							一					

學科目	第一學期						第二學期					
分析化學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
土壤地質學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
土壤學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
土地改良學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
肥料學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
植物生理學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
動物生理學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
應用菌學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
農業微生物學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
家畜飼養學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
食品化學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
製造化學機械學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
釀酵化學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
農產製造學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二
林產製造學	二	二	二	二	二	二	一	二	二	二	二	二